

地域の現況（人口・利便性・安全性）と まちづくり方針図

○大坂上中学校地域 p.1

○第一中学校地域 p.6

○**第二中学校地域** **p.11**

○**第四中学校地域** **p.16**

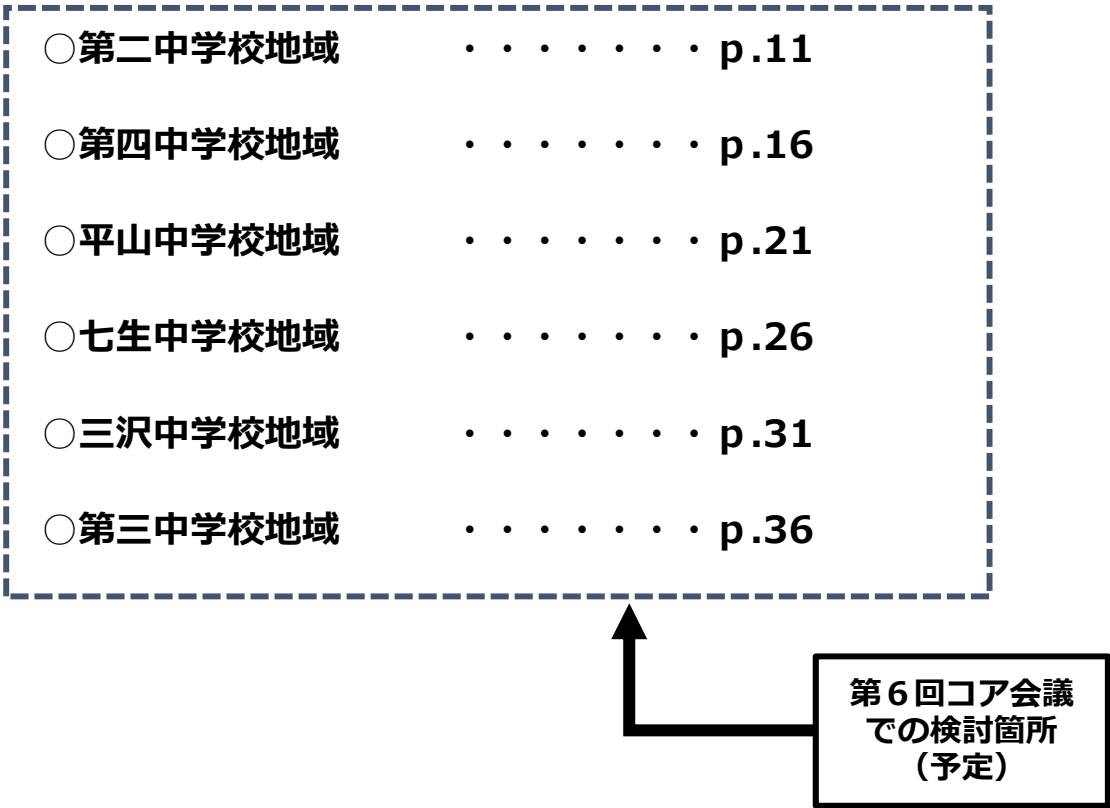
○**平山中学校地域** **p.21**

○**七生中学校地域** **p.26**

○**三沢中学校地域** **p.31**

○**第三中学校地域** **p.36**

第6回コア会議
での検討箇所
(予定)



大坂上中学校地域

～日野の玄関のあるまち～

地域の現況

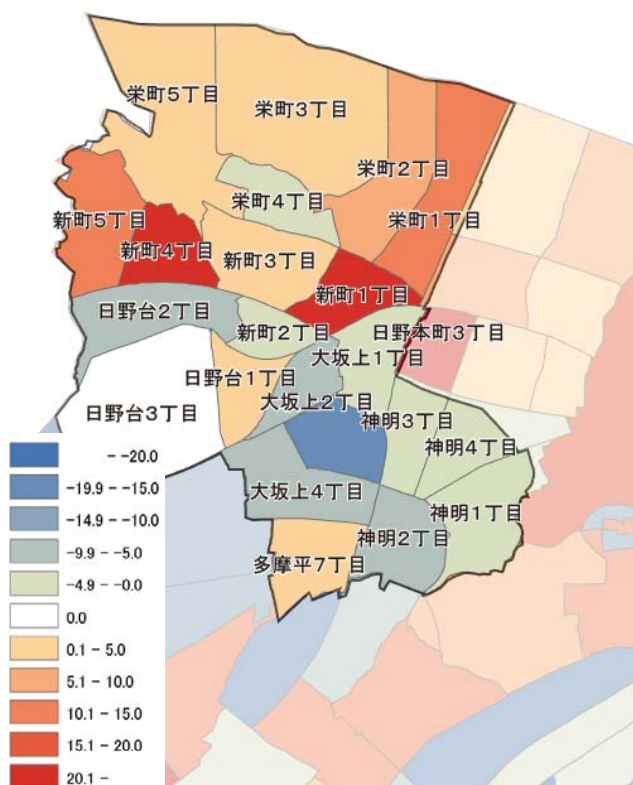
今後の人口動向	・日野駅周辺及び東光寺では今後とも人口増加が見込まれる。日野台、大坂上、神明では人口減少が見込まれる。神明・大坂上では75歳以上人口の増加が大きい。
暮らしやすさ	・日野駅周辺には、商業、医療等の生活利便施設が見られるが、その他の区域にはやや少ない。東光寺にはそれら生活利便施設や子育て支援施設等は特に少ない。
安心な暮らし	・栄町に浸水2 m以上が想定される区域、崖線周辺及び中央線の切通に急傾斜地の崩壊危険性がある箇所がみられる。 ・大坂上2丁目、日野台1, 2丁目に旧耐震基準の古い建物が多い。

まちづくり方針の概要

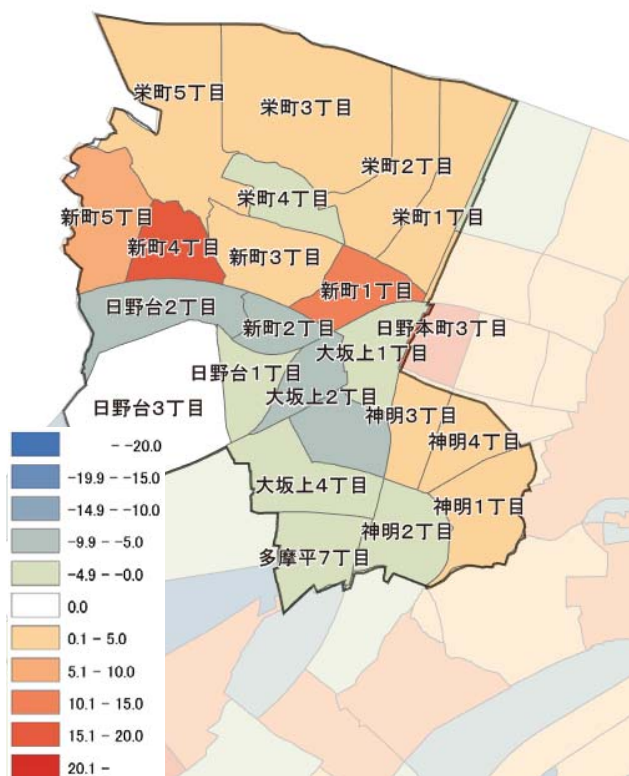
記憶と文化を伝えるまちをつくる	自然 ・ 農地	<ul style="list-style-type: none"> ●多摩川の流れ、湧水、崖線の緑等、身近な自然や農を守り・活かす。 ●ファーマーズセンターを中心に東光寺周辺の農地・用水を活かし、農あるまちづくりを進める。
暮らしの舞台を支えるまちをつくる	住宅地 ・ 生活基盤	<ul style="list-style-type: none"> ●市役所や大学、中央公園など、多くの人が集まる公共施設の集積を活かし、コミュニティの拠点を創る。 ●栄町、日野台周辺の生活道路等を整備し、安全性と暮らしやすさを高める。
人々が活発に活動するまちをつくる	拠点 ・ 産業	<ul style="list-style-type: none"> ●日野の玄関口である日野駅周辺に賑わいと安らぎのある空間を創る。 ●日野自動車工場の移転後も、日野を支える産業拠点等として、地域と共存・連携する跡地の活用を検討する。

■大坂上中地域 今後の人口と世帯数の推計（2015～2040 増減推計）

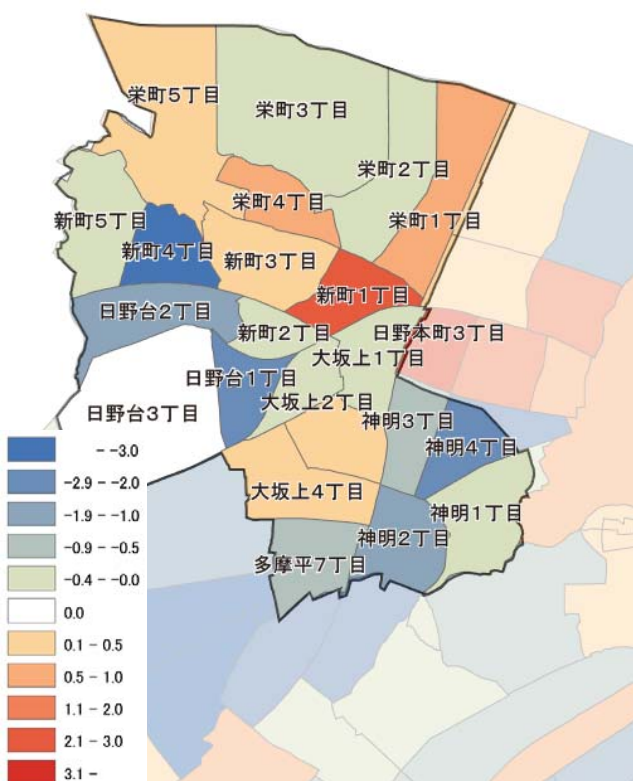
人口増加数（人/ha）



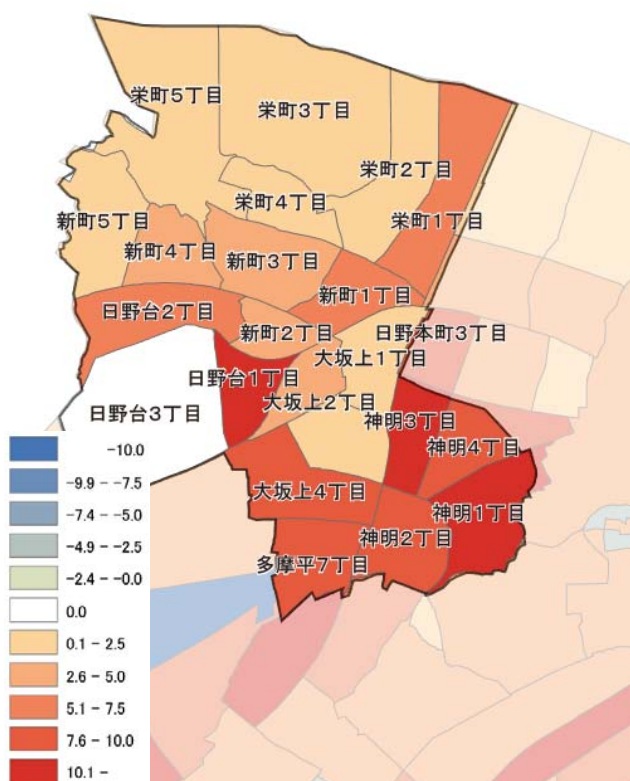
世帯数増加数（世帯/ha）



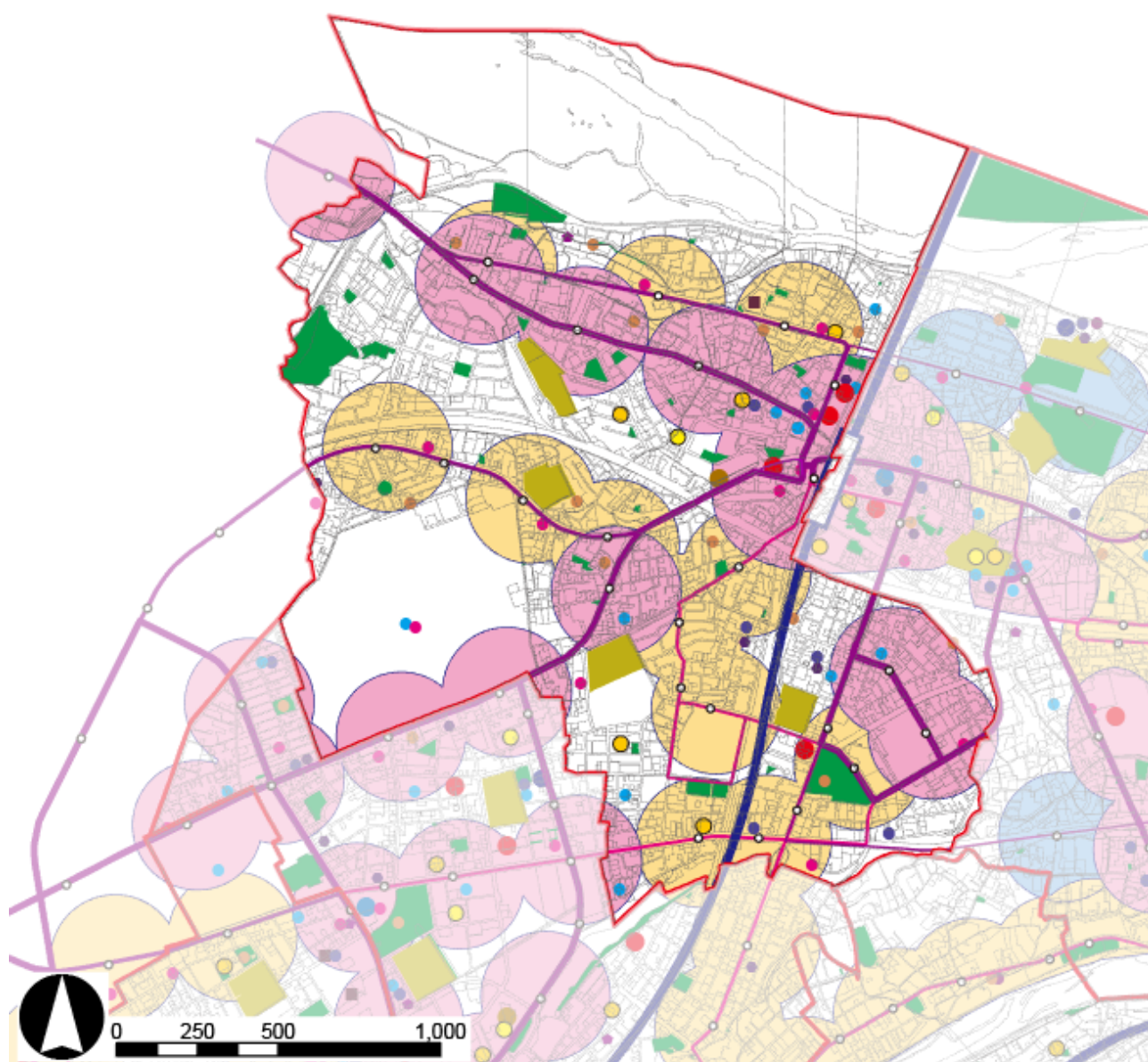
6歳未満人口増加数（人/ha）



75歳以上人口増加数（人/ha）



■大坂上中地域 <暮らしやすさ>



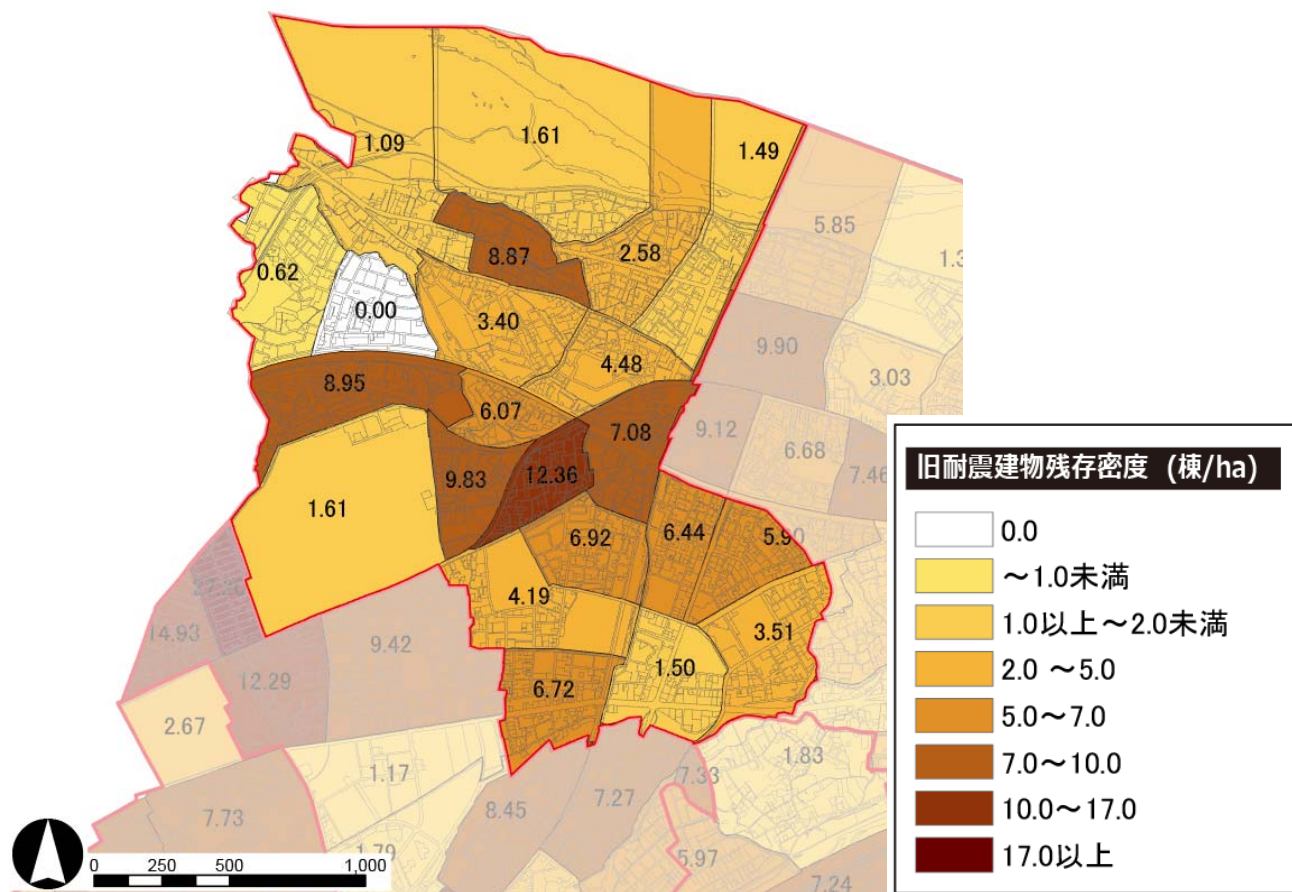
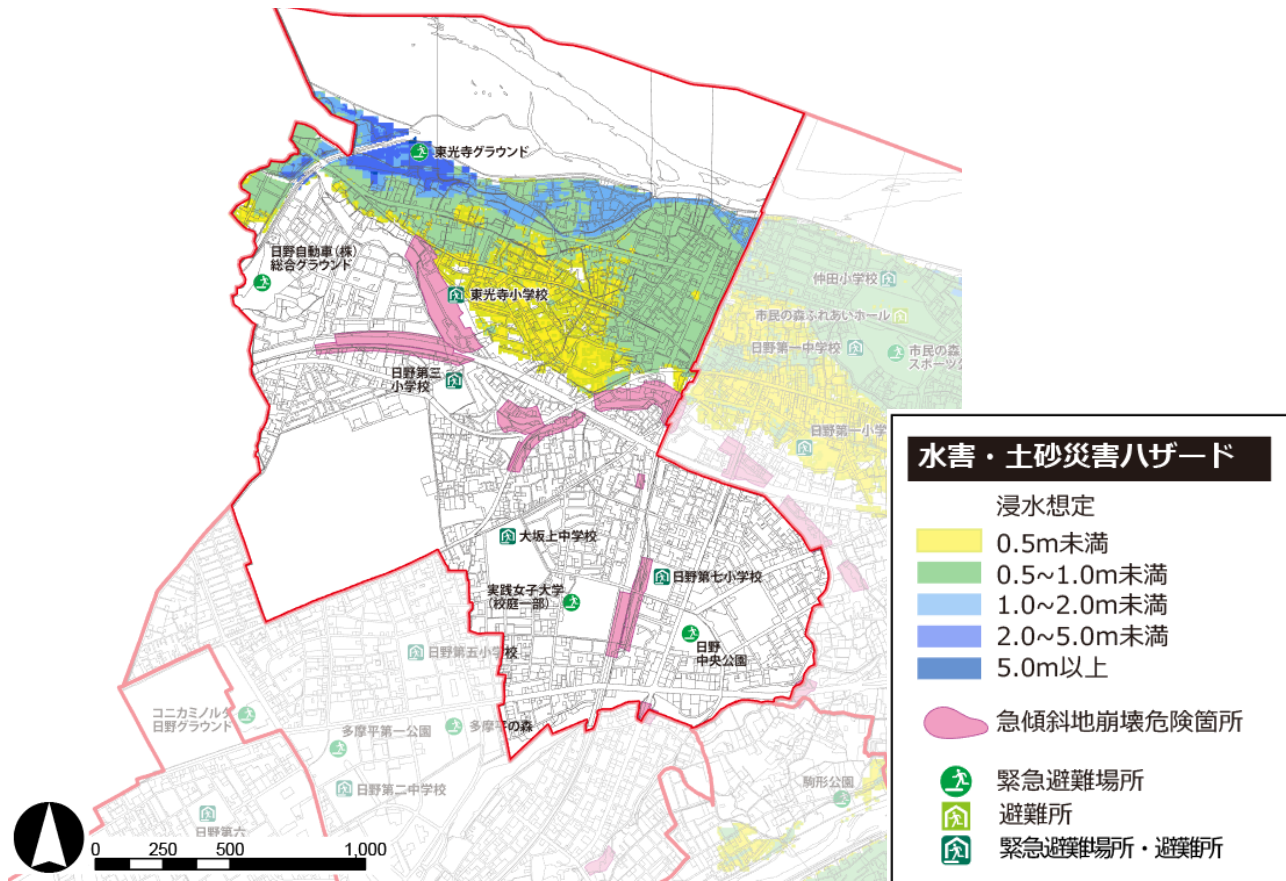
公共交通の利便性

- 鉄道・モノレールと駅
- 75本(片道)以上のバスルート
- 35本以上のバスルート
- 10本未満のバスルート
- ミニバスルート(10～20本)
- バス停
- 駅400m圏+35本以上のバス停200m圏
- 10～35本未満のバス停200m圏
- 10本未満のバス停200m圏
- 上記以外(公共交通空白地域)

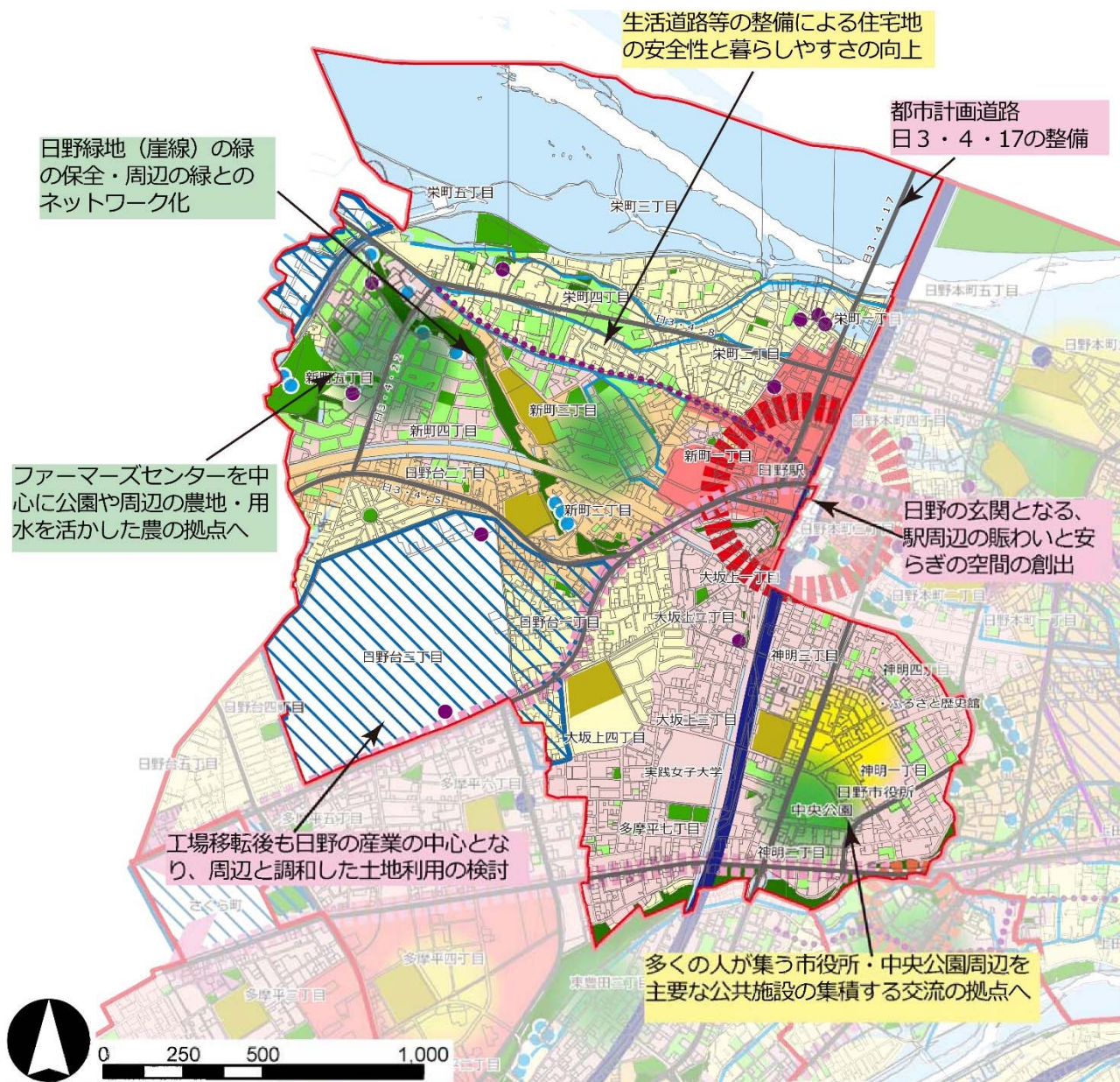
生活便利施設・コミュニティ施設

- 商業施設(スーパー、コンビニ)
- 医療施設(病院、診療所)
- 子育て施設(幼稚園、保育所)
- 交流施設(交流センター、地区センター)
- 地域包括支援センター
- 福祉施設(訪問サービス、通所サービス、ショートステイ、特養等入所施設、グループホーム)
- 小・中学校
- 公園

■大坂上中地域　＜安全な暮らし＞



■大坂上中地域 まちづくり方針図



記憶と文化を伝える まちをつくる

- 公園の整備と機能の充実
- 農地の保全と活用
- 崖線・多摩丘陵等の緑の保全
- 用水路の維持・保全
- 湧水
- 史跡の保全と活用

暮らしの舞台を支える まちをつくる

- 住環境の整備改善
(生活道路整備・ルールづくりなど)
- 住宅地の価値向上
(区画整理施行中・計画)
- 住環境の維持・向上
(区画整理施行済)
- 住み続けられる環境整備
(丘陵部の住宅団地)
- 学校（余裕教室の活用等）
- 地域包括支援センター

人々が活発に活動する まちをつくる

- 都市・生活拠点の機能充実
- 沿道の施設誘導
- 操業環境の維持・保全
- 住工混在の改善
- 幹線道路の整備・改善
(緑化・歩きやすい歩行環境整備)
- 生活幹線道路の整備

第一中学校地域

～かつての日野人の心が息づくまち～

地域の現況

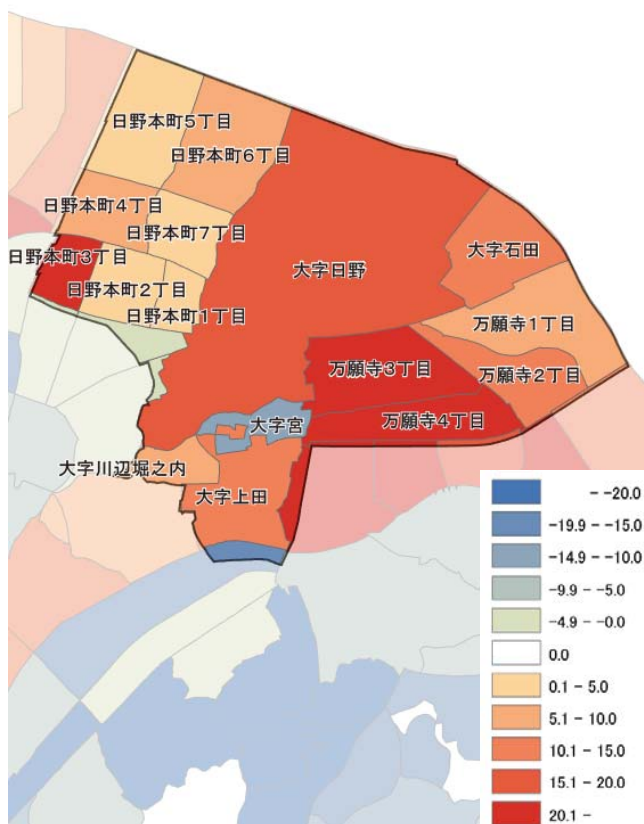
今後の人口動向	・ 近年完了又は実施中の区画整理事業により、ほぼ区域全域で人口増加が見込まれる。
暮らしやすさ	・ 日野駅周辺、甲州街道、万願寺のモノレール駅周辺や、日野駅から高幡不動を結ぶバスルート沿道や日野バイパス沿道に商業、医療等の生活利便施設が見られる。また、地域包括支援センターを中心に福祉施設が集積する区域がある。
安心な暮らし	・ 日野、万願寺に浸水2m以上が想定される区域、崖線周辺に急傾斜地の崩壊危険性がある箇所がみられる。 ・ 日野駅周辺（日野本町 1 ～ 4 丁目）に旧耐震基準の古い建物がやや多い。

まちづくり方針の概要

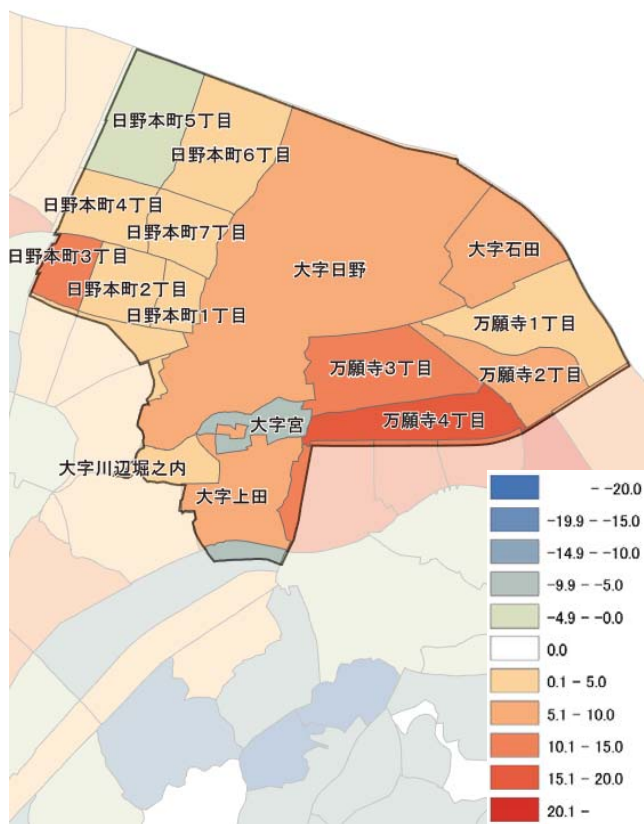
記憶と文化を 伝えるまちを つくる	自然 ・ 農地	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民の森スポーツ公園、仲田公園など、緑豊かな環境を多くの人が集まる水と緑の拠点とする。 ● 万願寺中央公園周辺を、浅川や水路などを回遊できる、水と緑の拠点とする。
暮らしの舞台 を支えるまち をつくる	住宅地 ・ 生活基盤	<ul style="list-style-type: none"> ● 日野駅周辺の人口増に対応して、医療施設や子育て支援施設を誘導する。 ● 特養、優良老人ホームなど福祉施設の集積するエリアで、安心して暮らせるまちづくりを進める。
人々が活発に 活動するまち をつくる	拠点 ・ 産業	<ul style="list-style-type: none"> ● 日野駅から甲州街道沿いでは旧日野宿本陣等を活かして風情と賑わいのある空間を創る。 ● モノレール甲州街道駅、万願寺駅周辺を、福祉施設や商業施設を活かした生活拠点とする。 ● 昔からの工場が操業継続できる、住工が共存する活力ある地域へ再生する。

■第一中地域 今後の人口と世帯数の推計（2015～2040 増減推計）

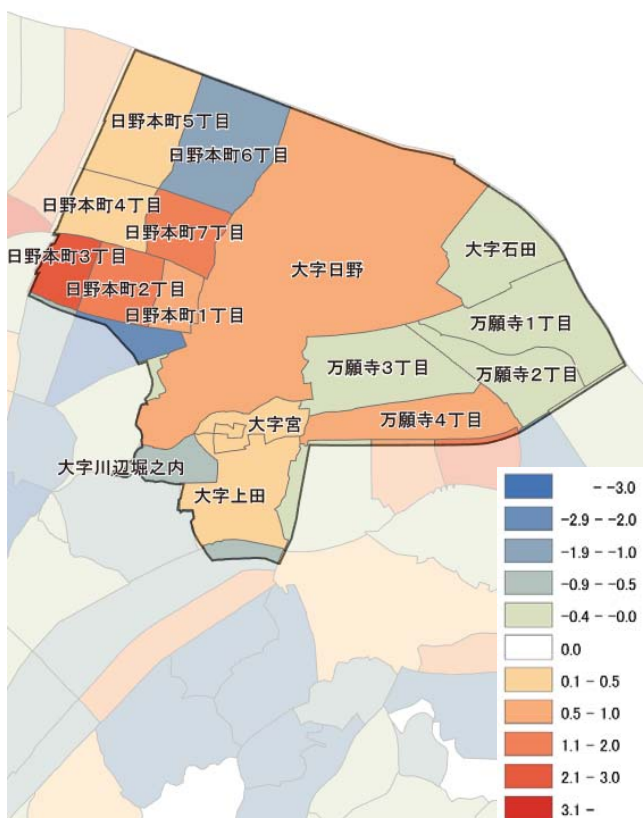
人口増加数（人/ha）



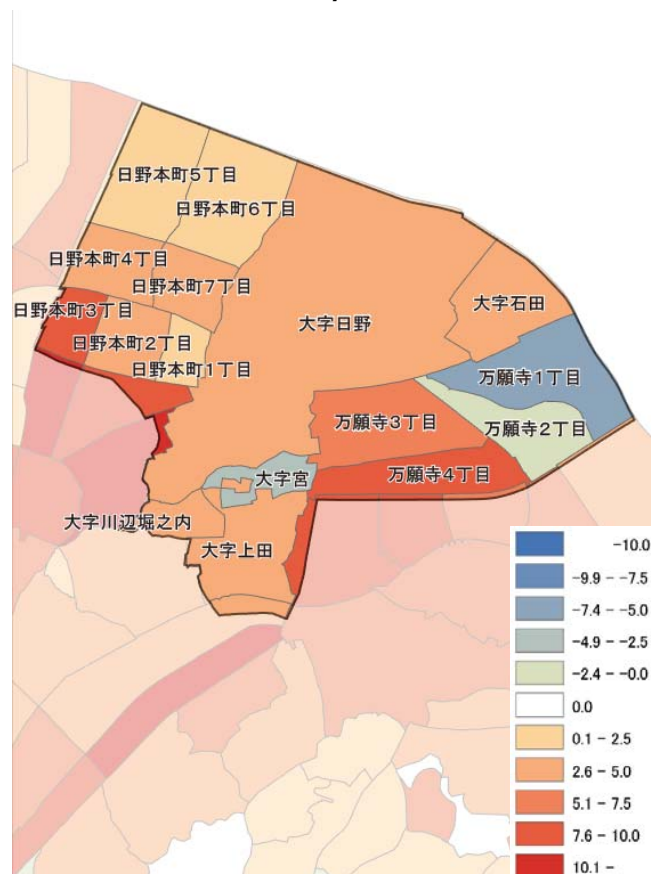
世帯数増加数（世帯/ha）



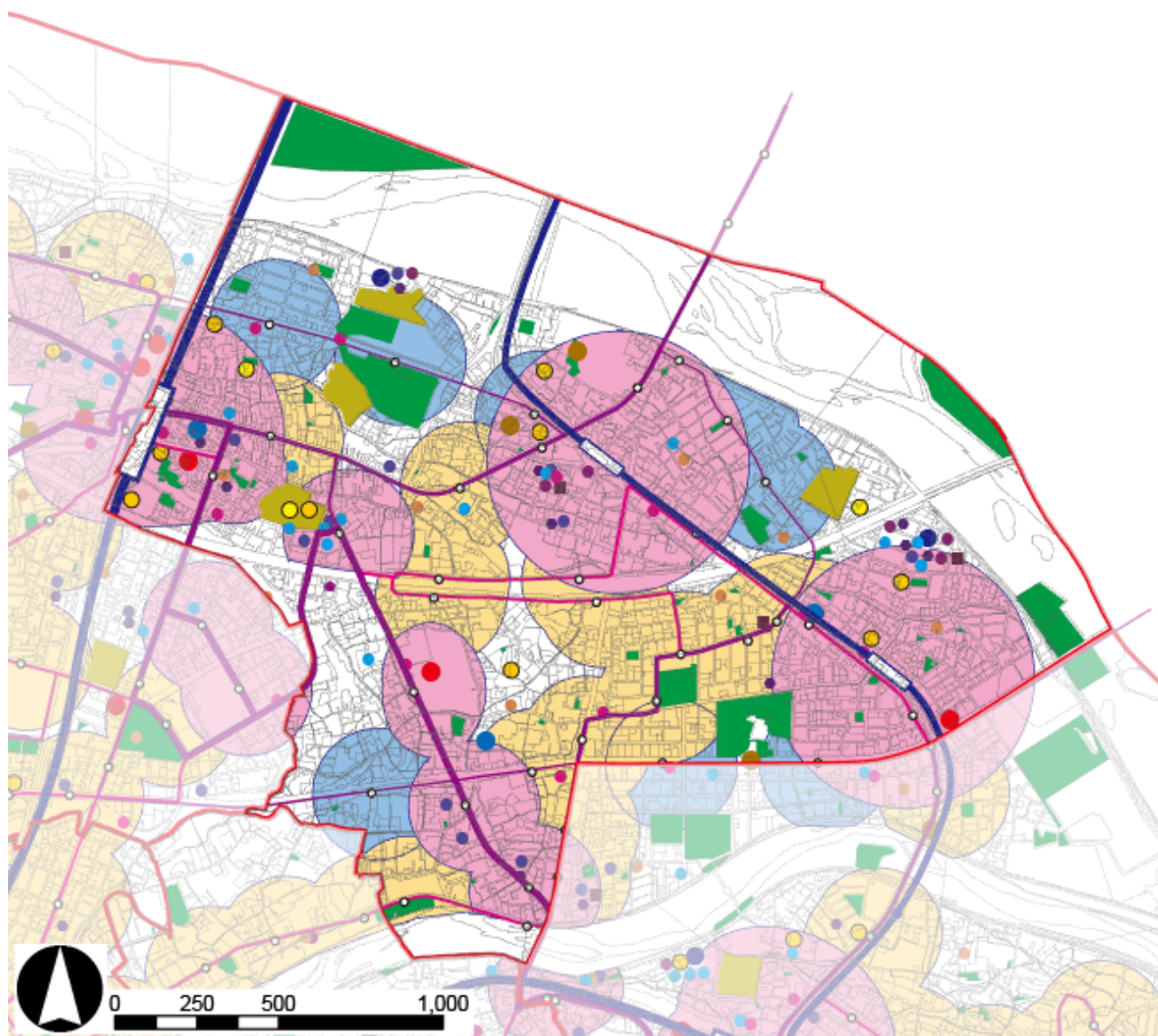
6歳未満人口増加数（人/ha）



75歳以上人口増加数（人/ha）



■第一中地域 <暮らしやすさ>



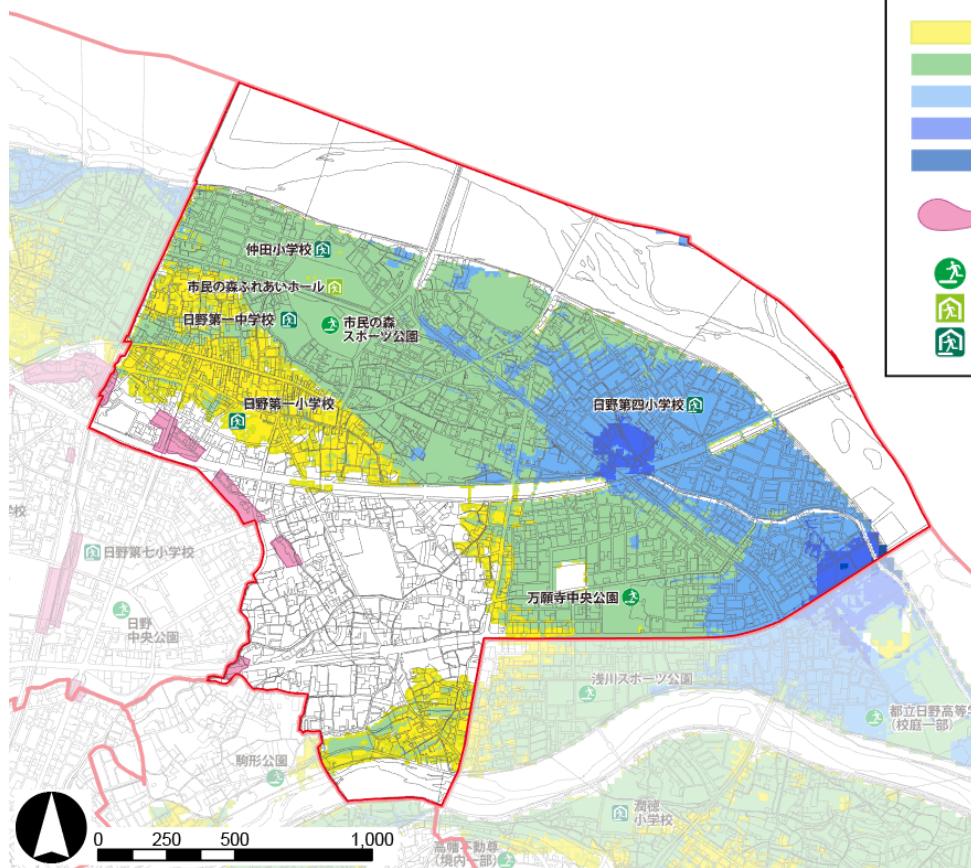
公共交通の利便性

- 鉄道・モノレールと駅
- 75本(片道)以上のバスルート
- 35本以上のバスルート
- 10本未満のバスルート
- ミニバスルート(10～20本)
- バス停
- 駅400m圏+35本以上のバス停200m圏
- 10～35本未満のバス停200m圏
- 10本未満のバス停200m圏
- 上記以外(公共交通空白地域)

生活便利施設・コミュニティ施設

- 商業施設(スーパー、コンビニ)
- 医療施設(病院、診療所)
- 子育て施設(幼稚園、保育所)
- 交流施設(交流センター、地区センター)
- 地域包括支援センター
- 福祉施設(訪問サービス、通所サービス、ショートステイ、特養等入所施設、グループホーム)
- 小・中学校
- 公園

■第一中地域　＜安全な暮らし＞



浸水想定

 0.5m未満

0.5~1.0m未満

1.0~2.0m未満

■ 2.0~5.0m未満

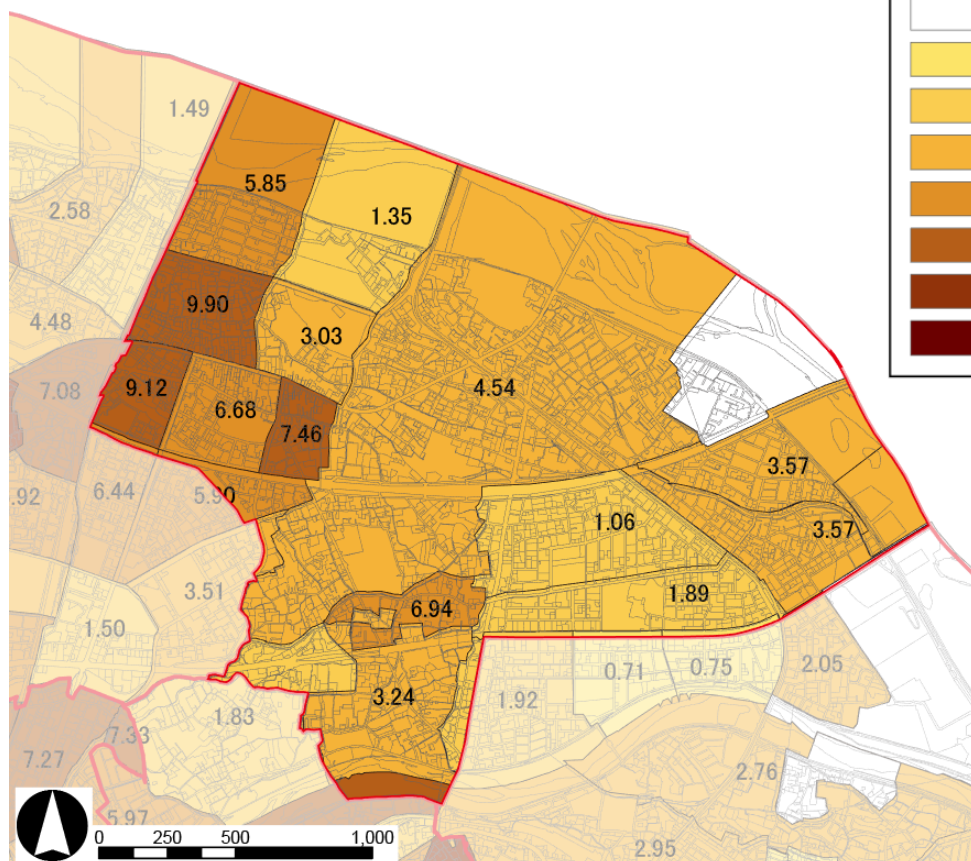
■ 5.0m以上

 急傾斜地崩壊危険箇所

 緊急避難場所

避難所

緊急避難場所・避難所



旧耐震建物残存密度 (棟/ha)

0.0

■ ~1.0未満

1.0以上～2.0未満

2.0 ~ 5.0

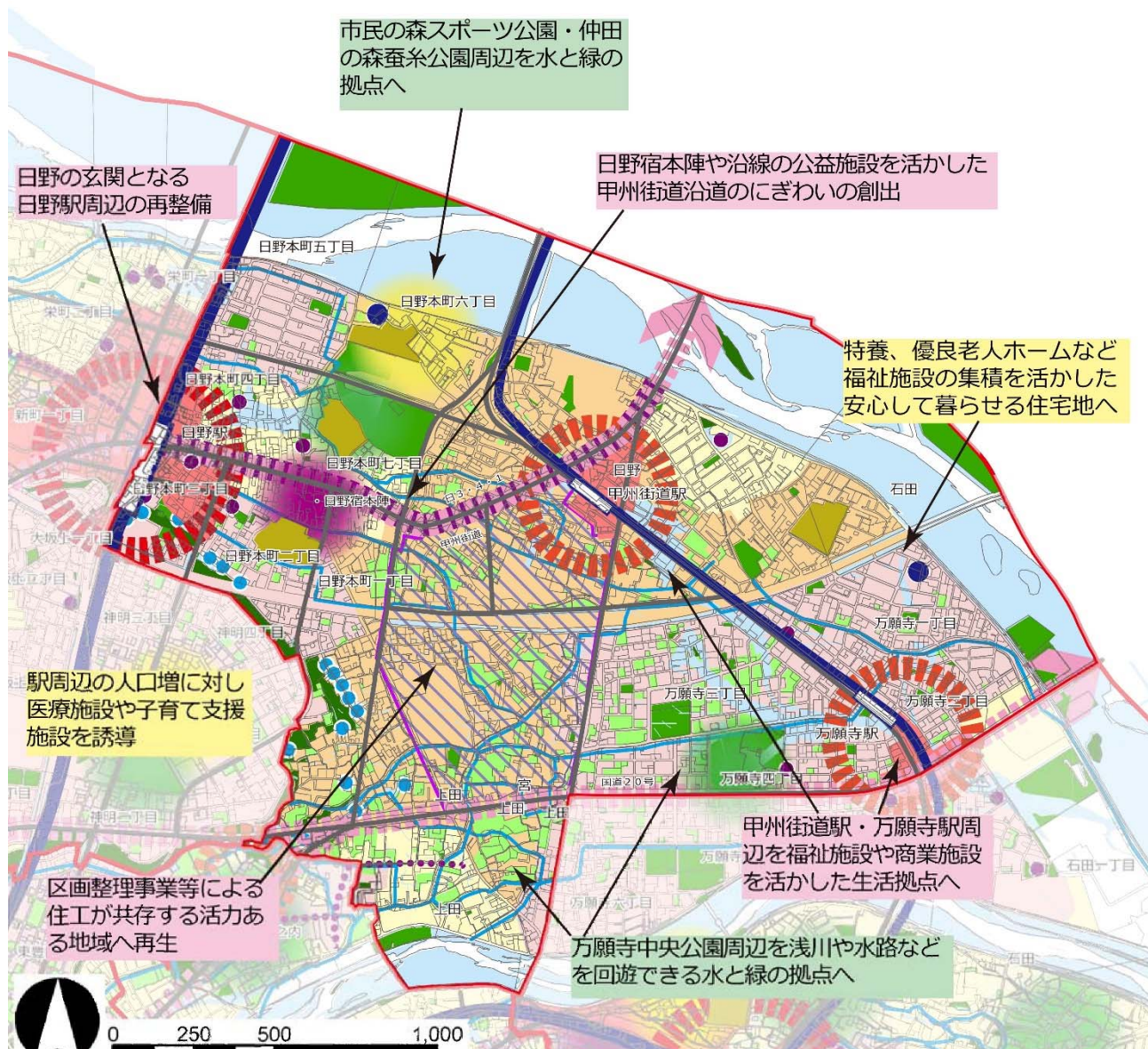
5.0~7.0

7.0~10.0

■ 10.0~17.0

■ 17.0以上

■第一中地域 まちづくり方針図



記憶と文化を伝える まちをつくる

- 公園の整備と機能の充実
- 農地の保全と活用
- 崖線・多摩丘陵等の緑の保全
- 用水路の維持・保全
- 湧水
- 史跡の保全と活用

暮らしの舞台を支える まちをつくる

- 住環境の整備改善
(生活道路整備・ルールづくりなど)
- 住宅地の価値向上
(区画整理施行中・計画)
- 住環境の維持・向上
(区画整理施行済)
- 住み続けられる環境整備
(丘陵部の住宅団地)
- 学校(余裕教室の活用等)
- 地域包括支援センター

人々が活発に活動する まちをつくる

- 都市・生活拠点の機能充実
- 沿道の施設誘導
- 操業環境の維持・保全
- 住工混在の改善
- 幹線道路の整備・改善
(緑化・歩きやすい歩行環境整備)
- 生活幹線道路の整備

第二中学校地域

～緑の丘と水音が聞こえるまち～

地域の現況

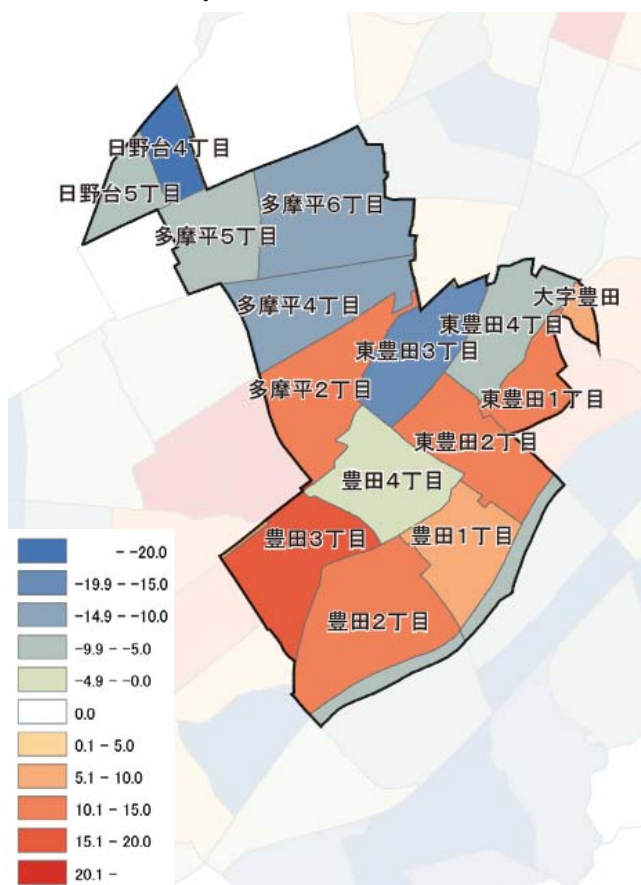
今後の人口動向	・地域南側の豊田では区画整理事業等により人口増加が見込まれるが、北側の多摩平では減少が見込まれる。
暮らしやすさ	・多摩平では市立病院の他に医療施設や商業施設が多く見られる。豊田では福祉系施設がやや多く立地している。
安心な暮らし	・東豊田の一部に急傾斜地の崩壊危険性がある箇所がみられる。 ・日野台4丁目周辺、豊田4丁目に、旧耐震基準の古い建物が集積している。

まちづくり方針の概要

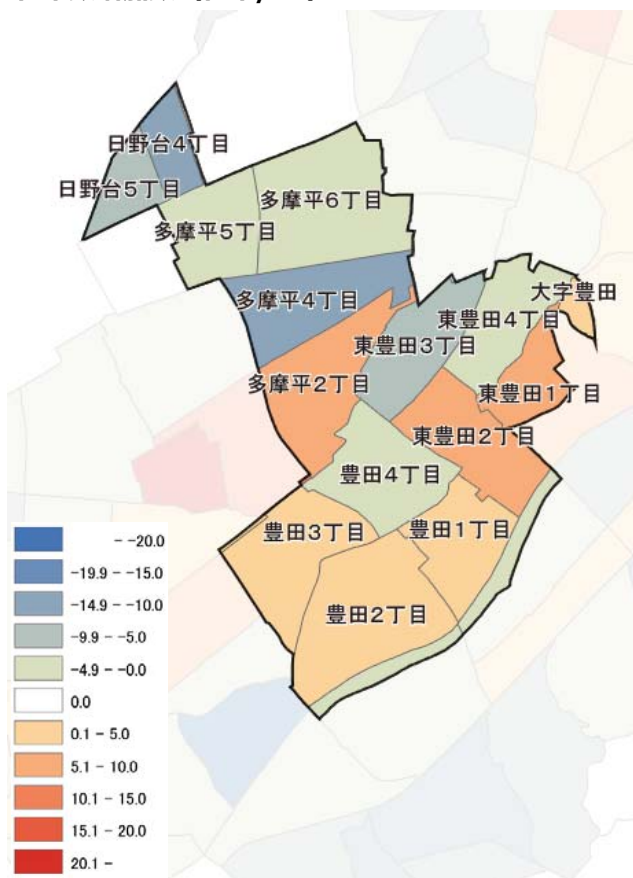
記憶と文化を 伝えるまちを つくる	自然 ・ 農地	●崖線の雑木林や湧水等の、多様な自然が残された清流公園などを保全・活用していく。
暮らしの舞台 を支えるまち をつくる	住宅地 ・ 生活基盤	●日野台周辺の狭隘道路を改善し、歩きたくなるまちづくりを進める。 ●豊田駅北側は医療・福祉施設等の集積を活かし、高齢者が安心して暮らせる住環境を形成する。 ●豊田駅南側は土地区画整理事業に併せ、浅川沿線の緑や農地と共存する街並み形成を進める。
人々が活発に 活動するまち をつくる	拠点 ・ 産業	●豊田駅北口は、多摩平の森計画で進められた商業施設や交流施設の整備を活かし、駅周辺の活力を更に向上させる。 ●豊田駅南口は、区画整理事業にあわせて、親しみのある地元密着の商業地を形成する。

■第二中地域 今後の人口と世帯数の推計（2015～2040 増減推計）

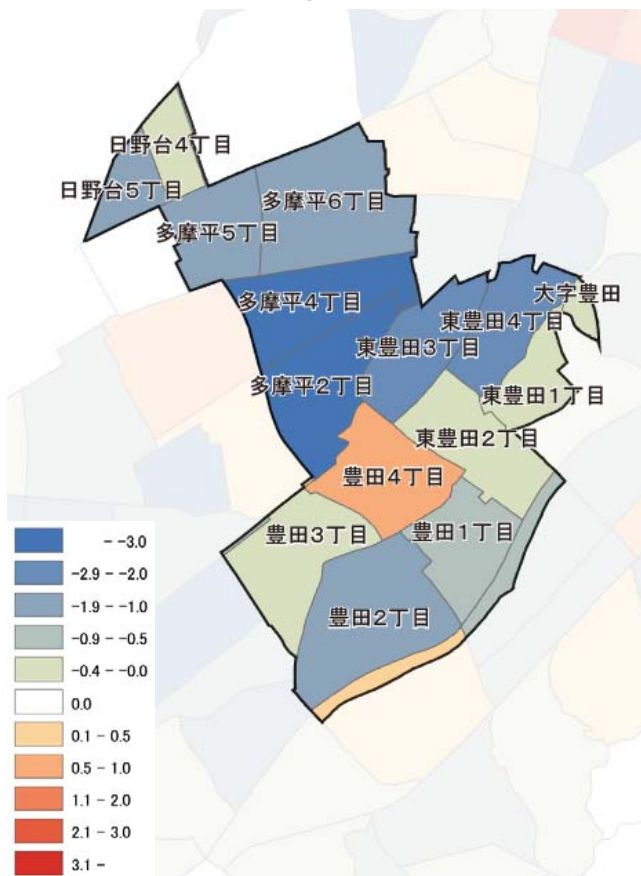
人口増加数（人/ha）



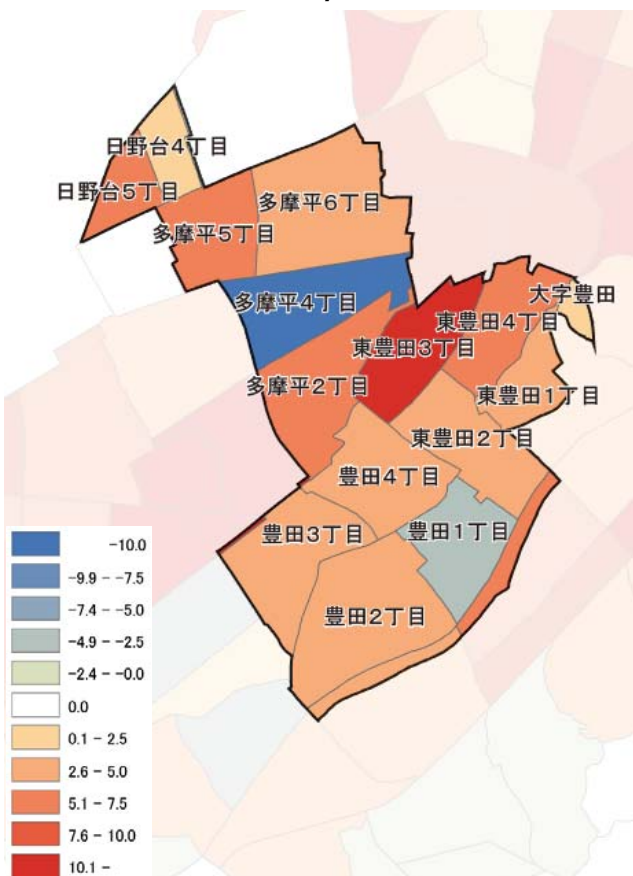
世帯数増加数（世帯/ha）



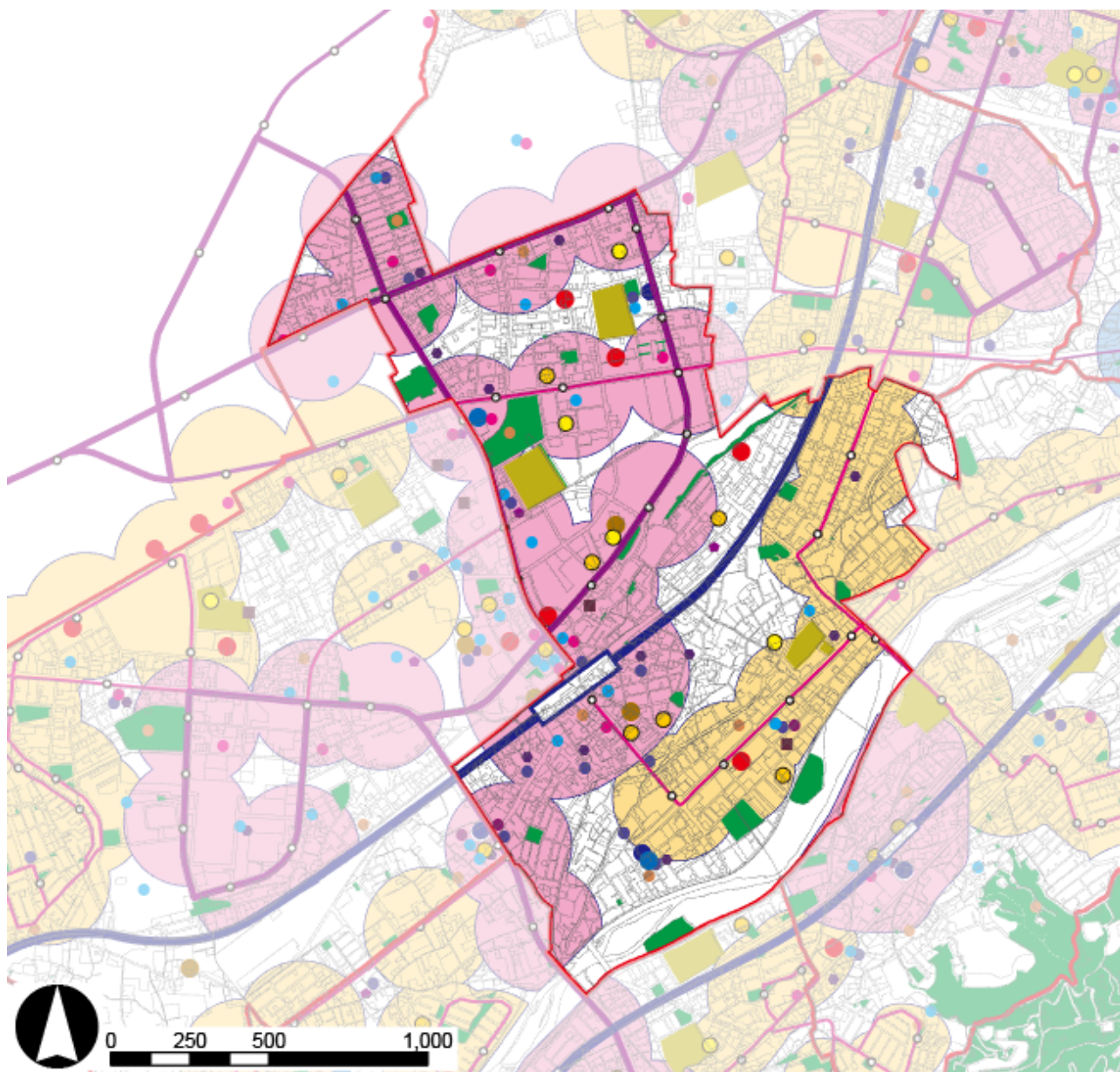
6歳未満人口増加数（人/ha）



75歳以上人口増加数（人/ha）



■第二中地域 <暮らしやすさ>



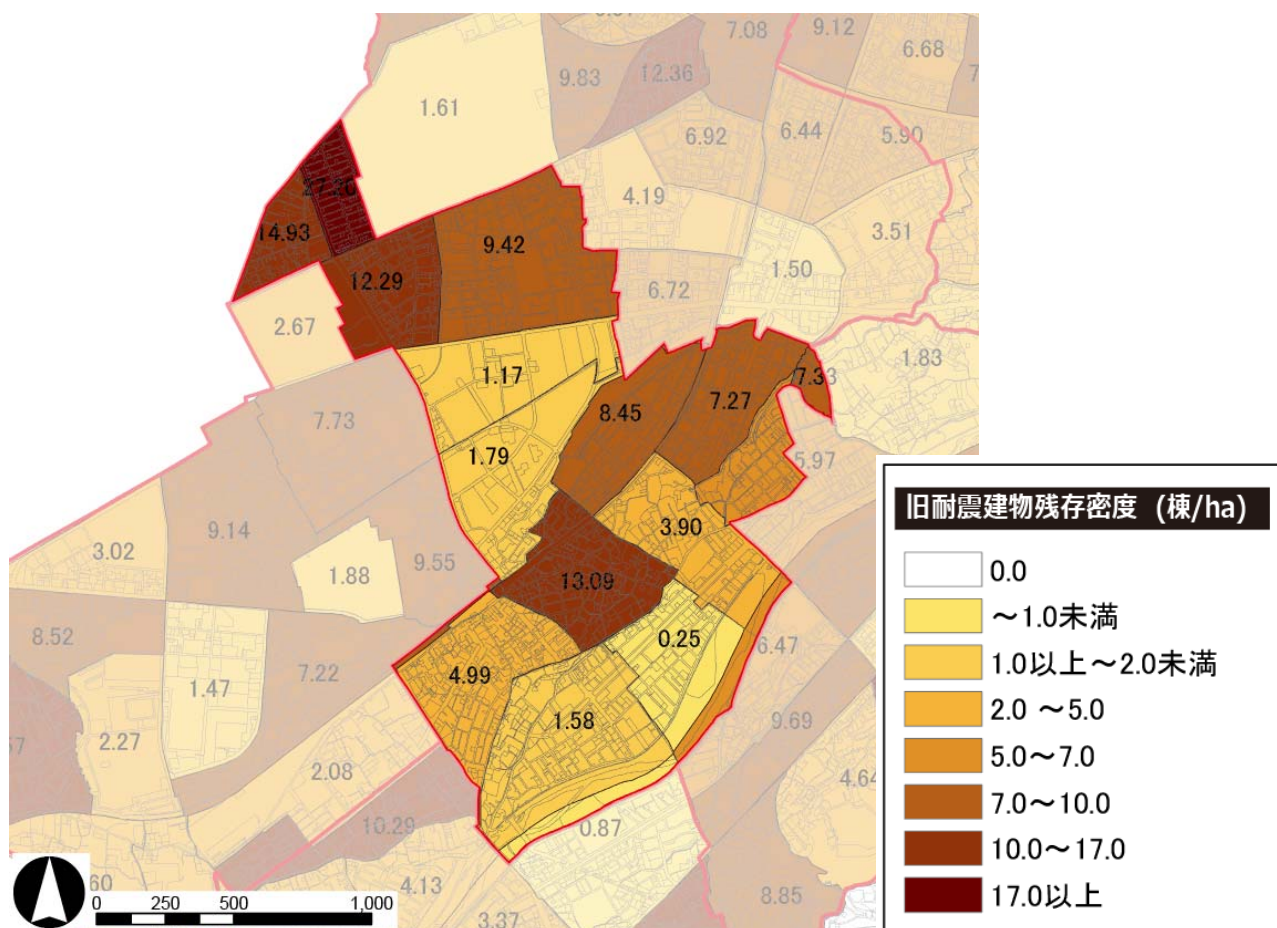
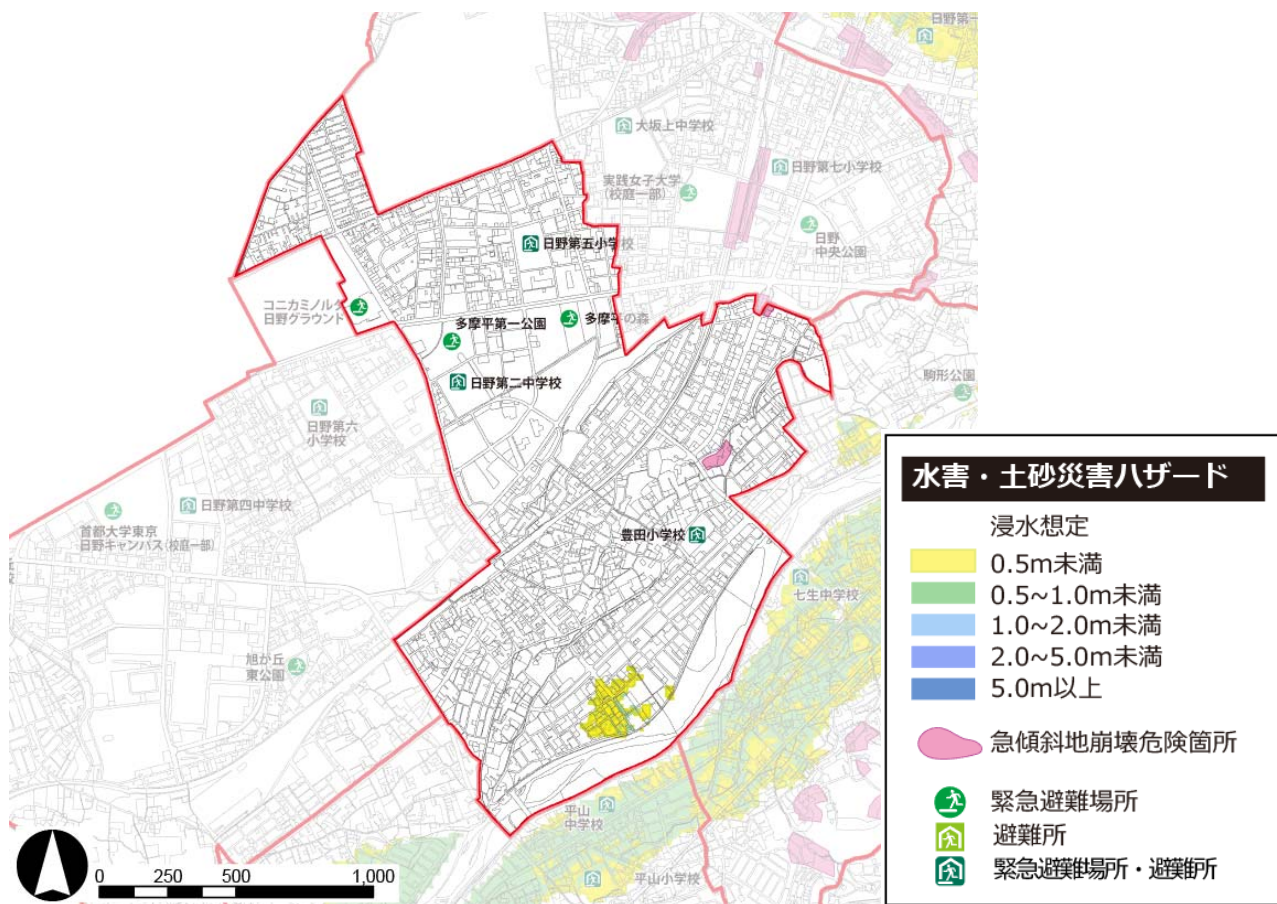
公共交通の利便性

- 鉄道・モノレールと駅
- 75本(片道)以上のバスルート
- 35本以上のバスルート
- 10本未満のバスルート
- ミニバスルート(10~20本)
- バス停
- 駅400m圏+35本以上のバス停200m圏
- 10~35本未満のバス停200m圏
- 10本未満のバス停200m圏
- 上記以外(公共交通空白地域)

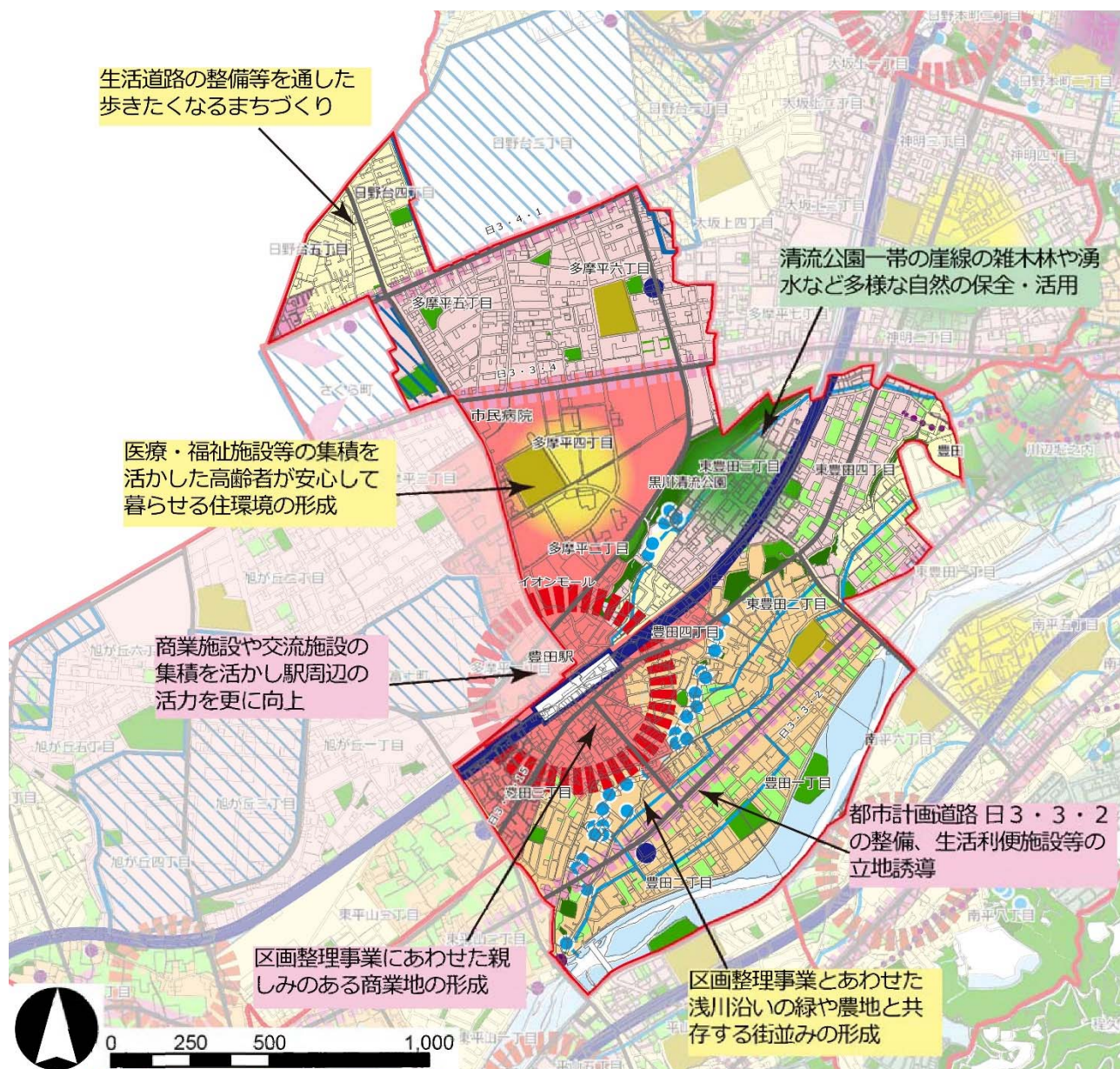
生活便利施設・コミュニティ施設

- 商業施設(スーパー、コンビニ)
- 医療施設(病院、診療所)
- 子育て施設(幼稚園、保育所)
- 交流施設(交流センター、地区センター)
- 地域包括支援センター
- 福祉施設(訪問サービス、通所サービス、ショートステイ、特養等入所施設、グループホーム)
- 小・中学校
- 公園

■第二中地域 <安全な暮らし>



■第二中地域 まちづくり方針図



記憶と文化を伝えるまちをつくる

- 公園の整備と機能の充実
- 農地の保全と活用
- 崖線・多摩丘陵等の緑の保全
- 用水路の維持・保全
- 湧水
- 史跡の保全と活用

暮らしの舞台を支えるまちをつくる

- 住環境の整備改善
(生活道路整備・ルールづくりなど)
- 住宅地の価値向上
(区画整理施行中・計画)
- 住環境の維持・向上
(区画整理施行済)
- 住み続けられる環境整備
(丘陵部の住宅団地)
- 学校(余裕教室の活用等)
- 地域包括支援センター

人々が活発に活動するまちをつくる

- 都市・生活拠点の機能充実
- 沿道の施設誘導
- 操業環境の維持・保全
- 住工混在の改善
- 幹線道路の整備・改善
(緑化・歩きやすい歩行環境整備)
- 生活幹線道路の整備

第四中学校地域

～緑の丘に産学民が共に歩むまち～

地域の現況

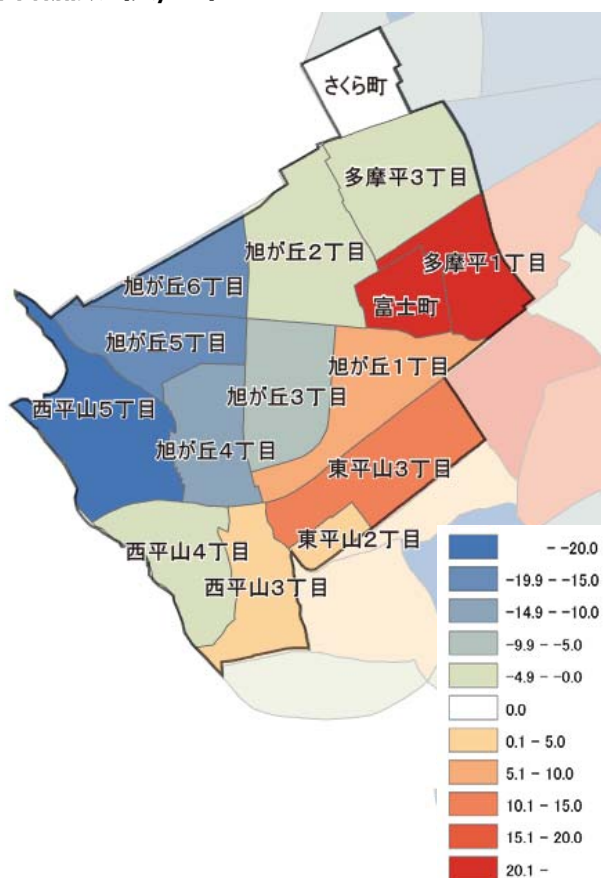
今後の人口動向	・多摩平 1 丁目で人口増加が見込まれるが、旭ヶ丘、西平山では人口減少が見込まれる。75歳以上の高齢者人口はほぼ区域全域で増加が見込まれる。
暮らしやすさ	・豊田駅周辺には医療施設を始め商業や福祉施設が多く見られる一方、区域西側の西平山には生活利便施設が少ない。
安心な暮らし	・西平山 5 丁目に旧耐震基準の古い建物が多い。

まちづくり方針の概要

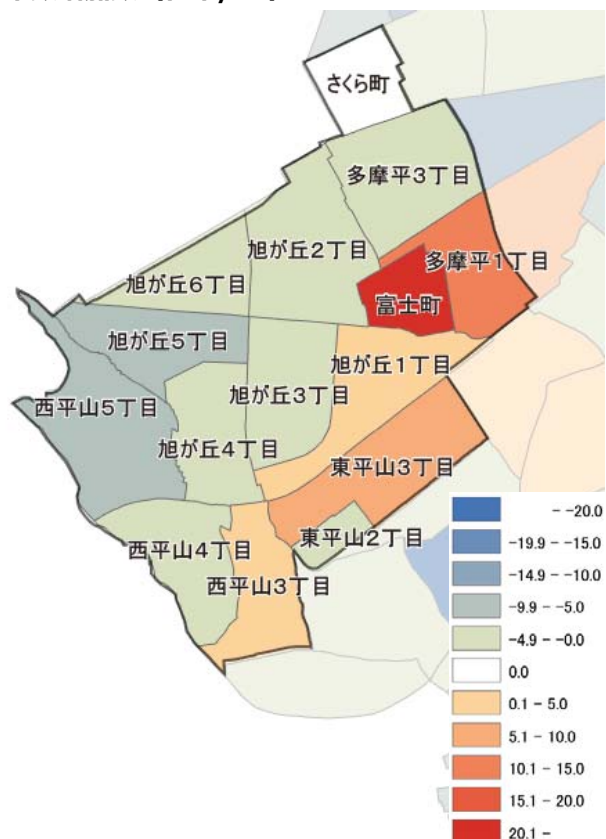
記憶と文化を伝えるまちをつくる	自然 ・ 農地	<ul style="list-style-type: none"> ●公園や工場・幹線道路沿いの街路樹の緑など、多様な形の緑のある街並みをつくる。 ●西平山の緑や農地を保全・活用しながら区画整理を進め、農の拠点を創る。
暮らしの舞台を支えるまちをつくる	住宅地 ・ 生活基盤	<ul style="list-style-type: none"> ●数多く立地する企業と連携し、操業環境と住環境の共存するまちづくりを進める。 ●西平山では、生活支援機能や公共交通の利便性を高め、安心して住みつけられるまちづくりを進める。
人々が活発に活動するまちをつくる	拠点 ・ 産業	<ul style="list-style-type: none"> ●豊田駅北口は、周辺の企業・地域住民など多くの人が使いやすく魅力のある駅前空間として整える。 ●企業や工場、大学などが協働し、潤いのある街並みや活力あるまちづくりを進めていく。

■第四中地域 今後の人口と世帯数の推計（2015～2040 増減推計）

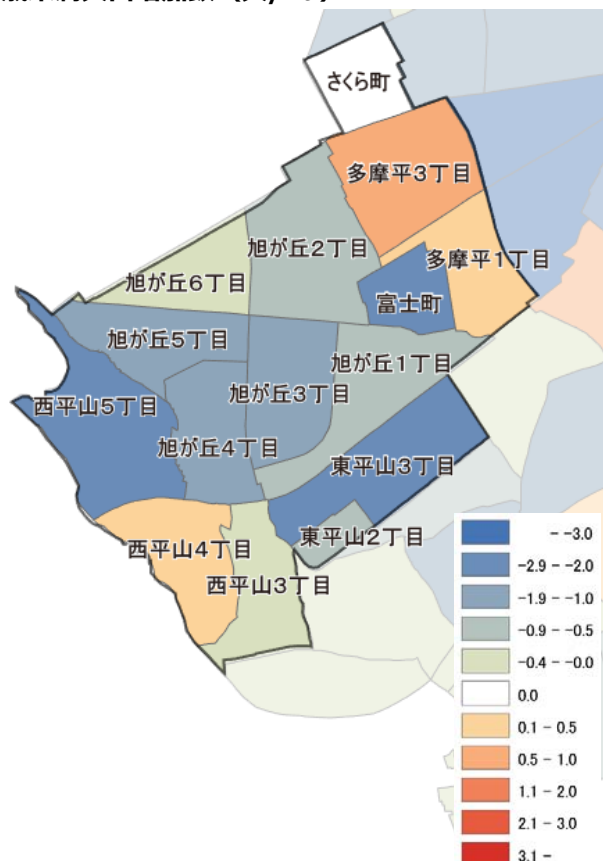
人口増加数（人/ha）



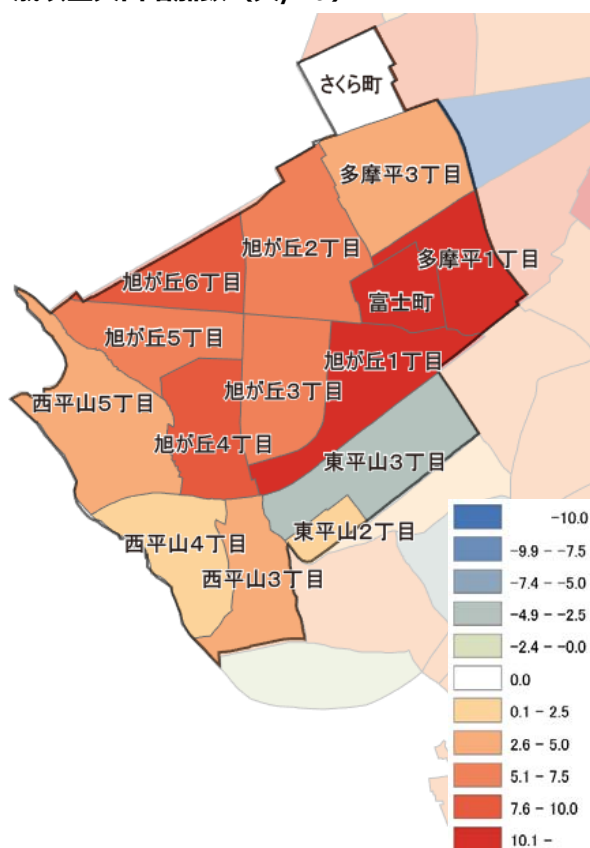
世帯数増加数（世帯/ha）



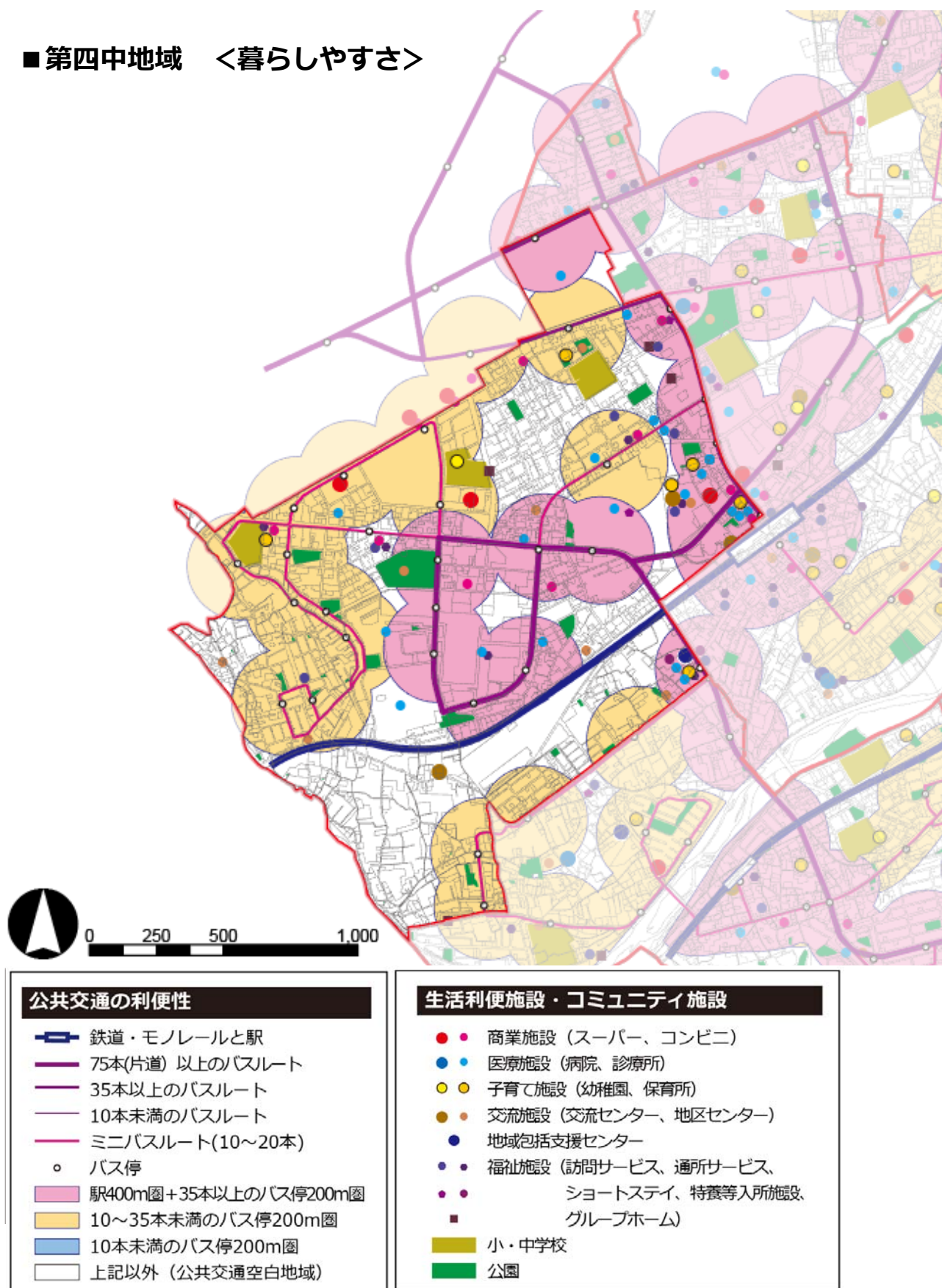
6歳未満人口増加数（人/ha）



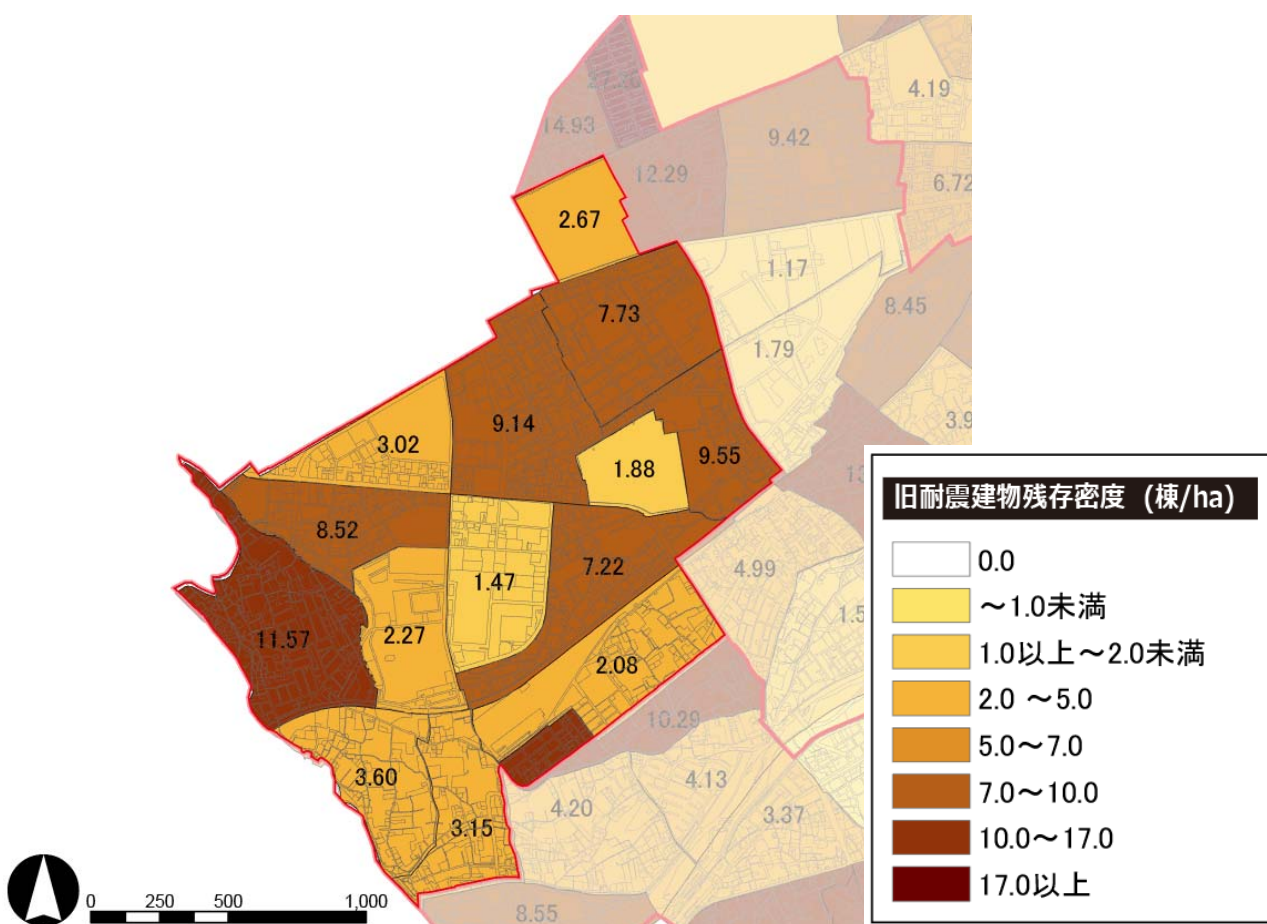
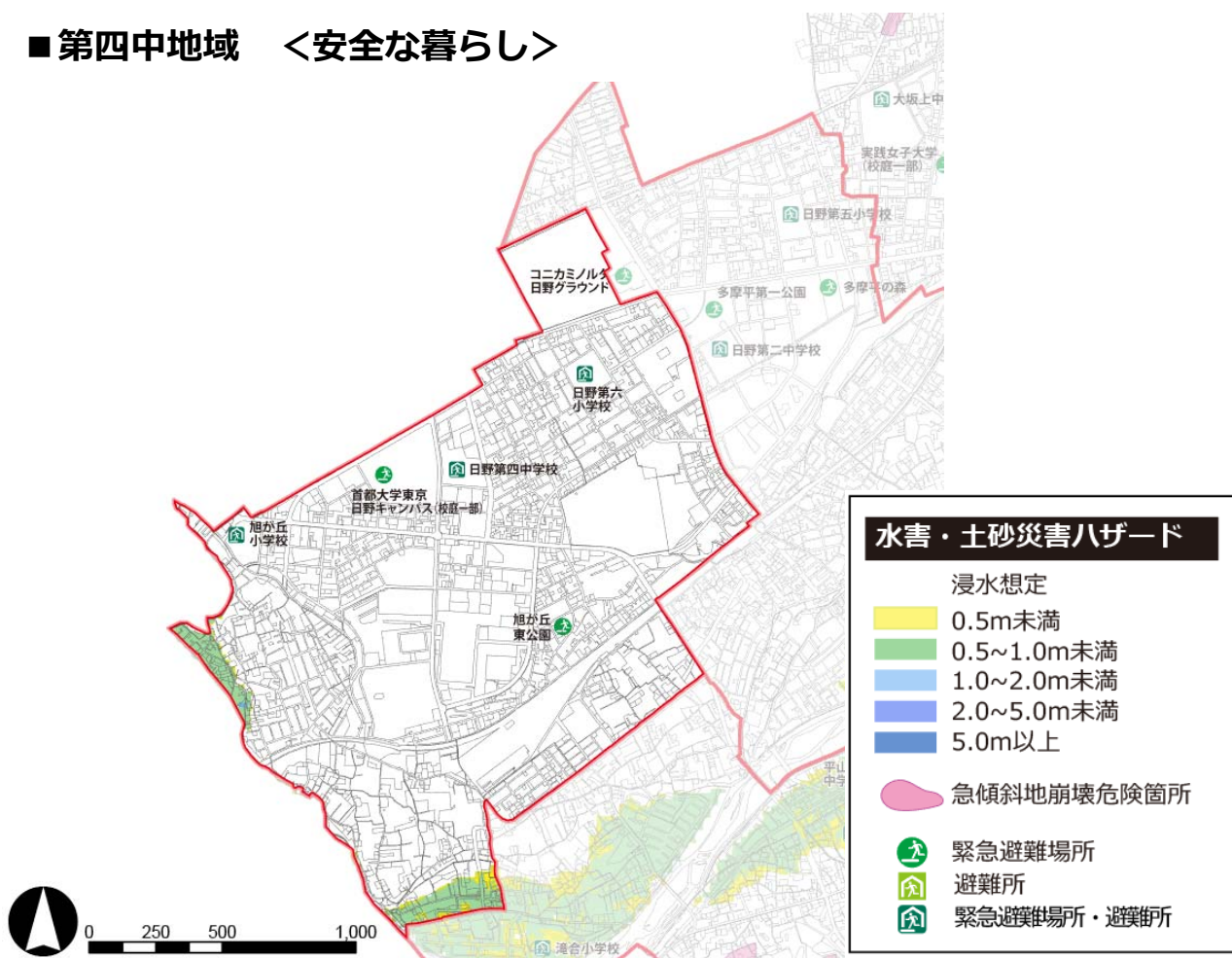
75歳以上人口増加数（人/ha）



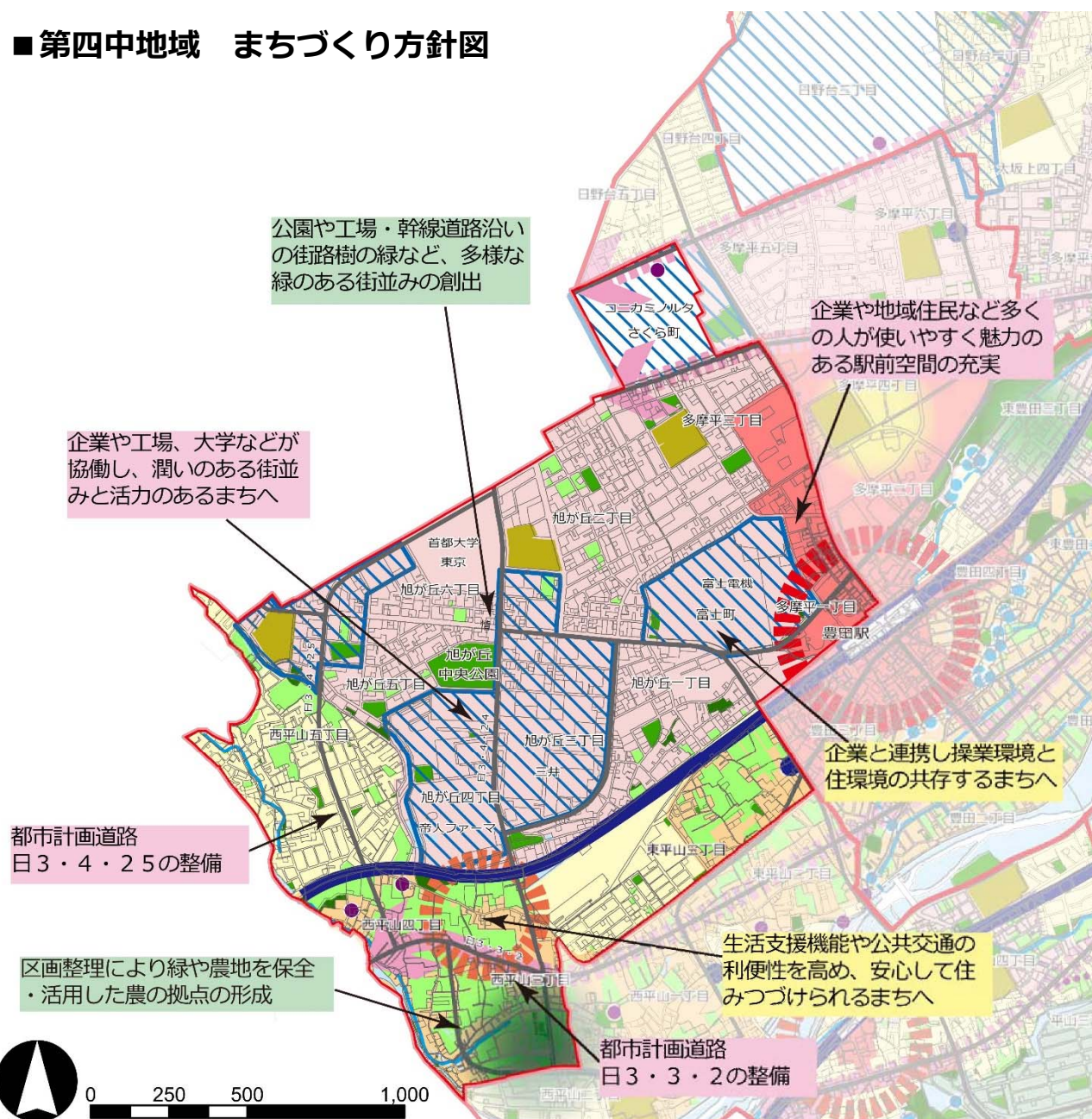
■第四中地域 <暮らしやすさ>



■ 第四中地域 <安全な暮らし>



■第四中地域 まちづくり方針図



記憶と文化を伝えるまちをつくる

- 公園の整備と機能の充実
- 農地の保全と活用
- 崖線・多摩丘陵等の緑の保全
- 用水路の維持・保全
- 湧水
- 史跡の保全と活用

暮らしの舞台を支えるまちをつくる

- 住環境の整備改善
(生活道路整備・ルールづくりなど)
- 住宅地の価値向上
(区画整理施行中・計画)
- 住環境の維持・向上
(区画整理施行済)
- 住み続けられる環境整備
(丘陵部の住宅団地)
- 学校(余裕教室の活用等)
- 地域包括支援センター

人々が活発に活動するまちをつくる

- 都市・生活拠点の機能充実
- 沿道の施設誘導
- 操業環境の維持・保全
- 住工混在の改善
- 幹線道路の整備・改善
(緑化・歩きやすい歩行環境整備)
- 生活幹線道路の整備

平山中学校地域

～浅川と緑のふところに抱かれたまち～

地域の現況

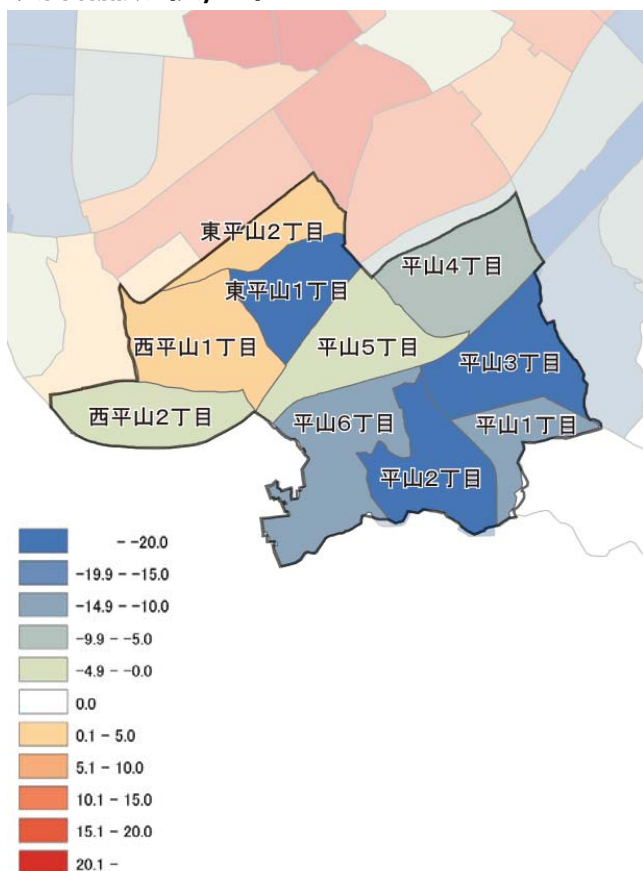
今後の人口動向	<ul style="list-style-type: none"> 区画整理が予定されている西平山1丁目でやや人口増加が見込まれるが、その他の区域では人口減少が見込まれる。平山1～3丁目、丘陵部の住宅団地では世帯数、75歳以上人口とも減少が見込まれている。
暮らしやすさ	<ul style="list-style-type: none"> 生活利便施設の立地は少なく、平山城址公園駅周辺にも少ない。丘陵部の住宅団地には福祉施設を含めて生活利便施設が立地していない。
安心な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 浅川沿岸に浸水1m程度が想定される区域がみられる。 丘陵部に急傾斜地の崩壊危険性がある箇所がみられる。 北岸の東平山2丁目、南岸の平山2、3、6丁目に旧耐震基準の古い建物が多い。

まちづくり方針の概要

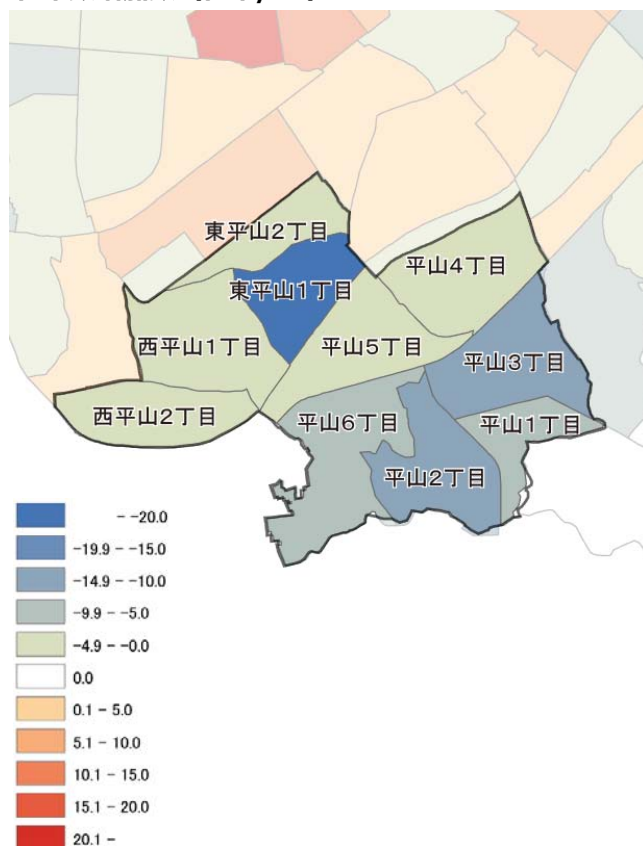
記憶と文化を伝えるまちをつくる	自然 ・ 農地	<ul style="list-style-type: none"> ●中央の浅川、南に広がる多摩丘陵の豊かな自然や眺望を守る。 ●西平山の緑や農地を保全・活用しながら区画整理を進め、農の拠点を創る。
暮らしの舞台を支えるまちをつくる	住宅地 ・ 生活基盤	<ul style="list-style-type: none"> ●京王線沿線では、生活道路等の整備により、安全で緑豊かな住宅地を形成する。 ●平山の丘陵部住宅地の街並みと住環境を残しながら、高齢者が住み続けられるよう生活支援機能や移動環境を整えていく。
人々が活発に活動するまちをつくる	拠点 ・ 産業	<ul style="list-style-type: none"> ●平山城址公園駅周辺は、さまざまな世代でにぎわう生活サービス機能の充実した生活拠点を形成する。 ●日野バイパス延伸部には、広域および地域の生活利便性を高める沿道サービス施設を誘導していく。

■ 平山中地域 今後の人口と世帯数の推計（2015～2040 増減推計）

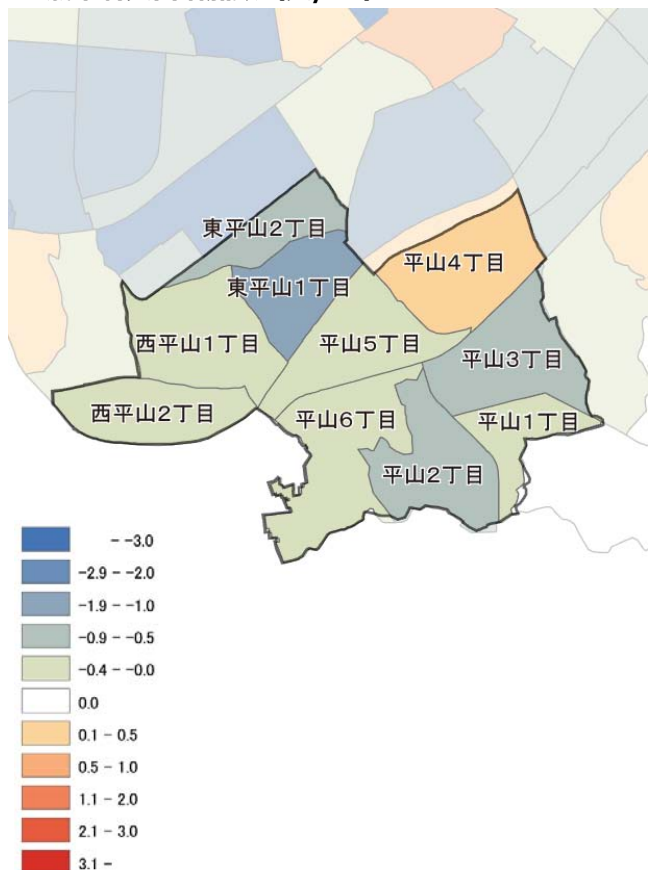
人口増加数（人/ha）



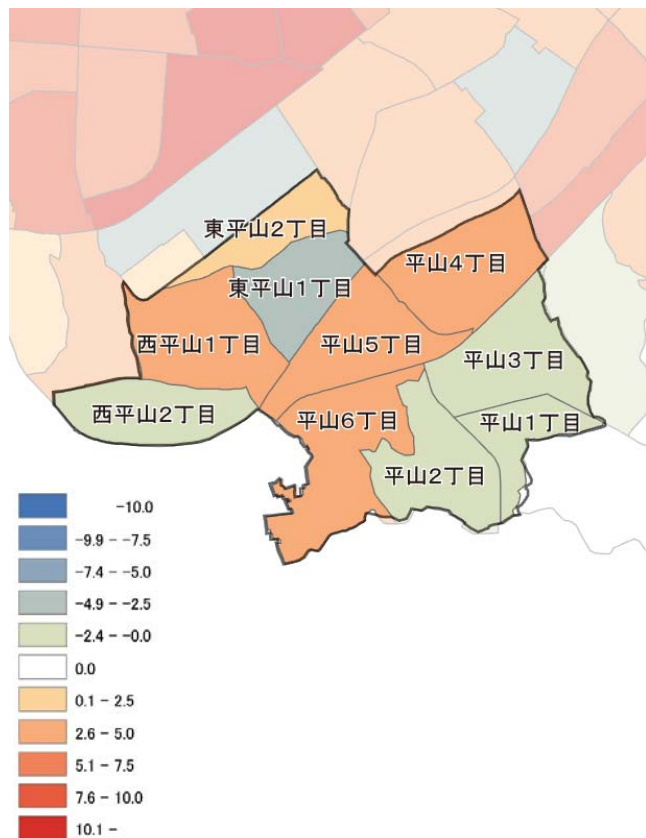
世帯数増加数（世帯/ha）



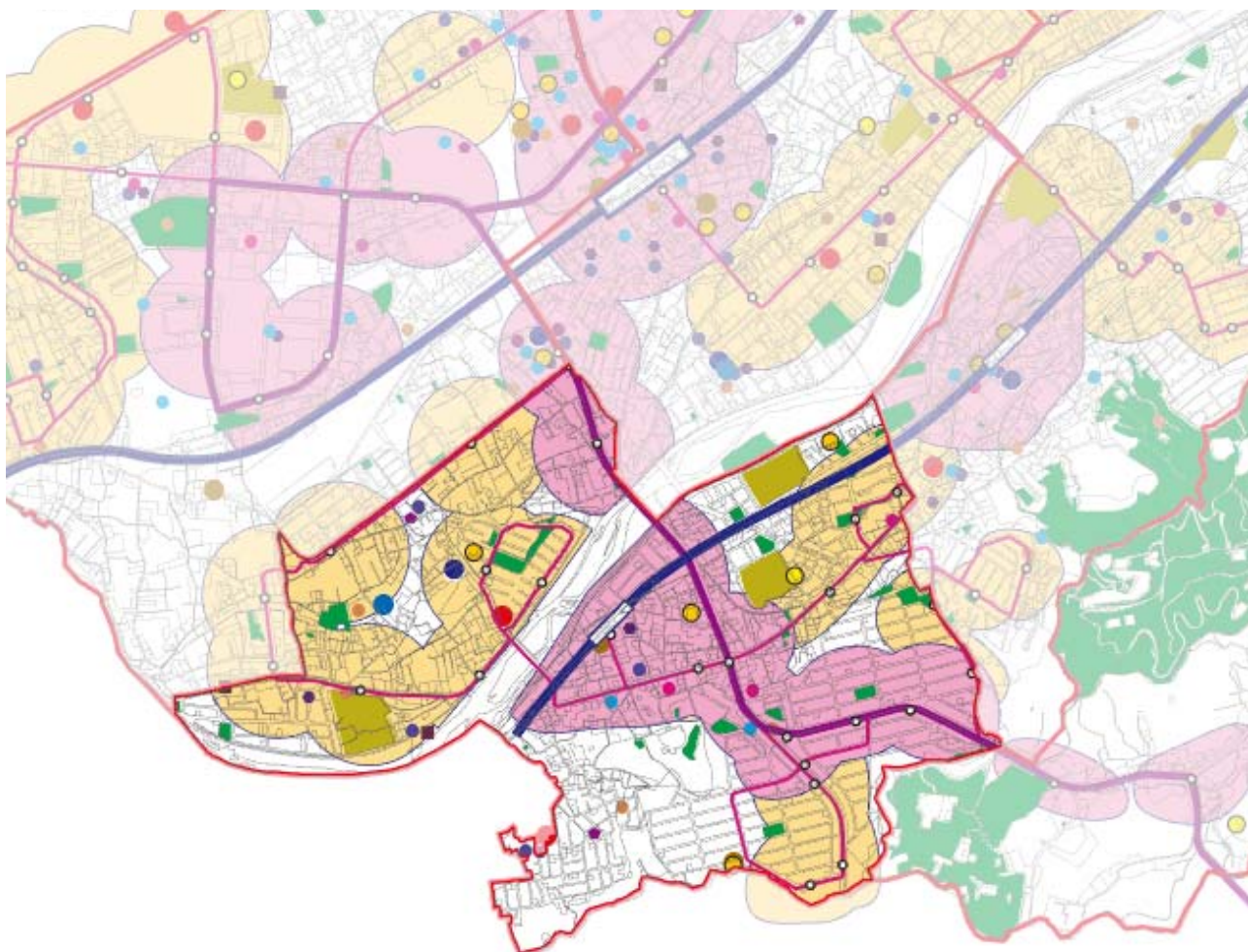
6歳未満人口増加数（人/ha）



75歳以上人口増加数（人/ha）



■平山中地域 <暮らしやすさ>



0 250 500 1,000

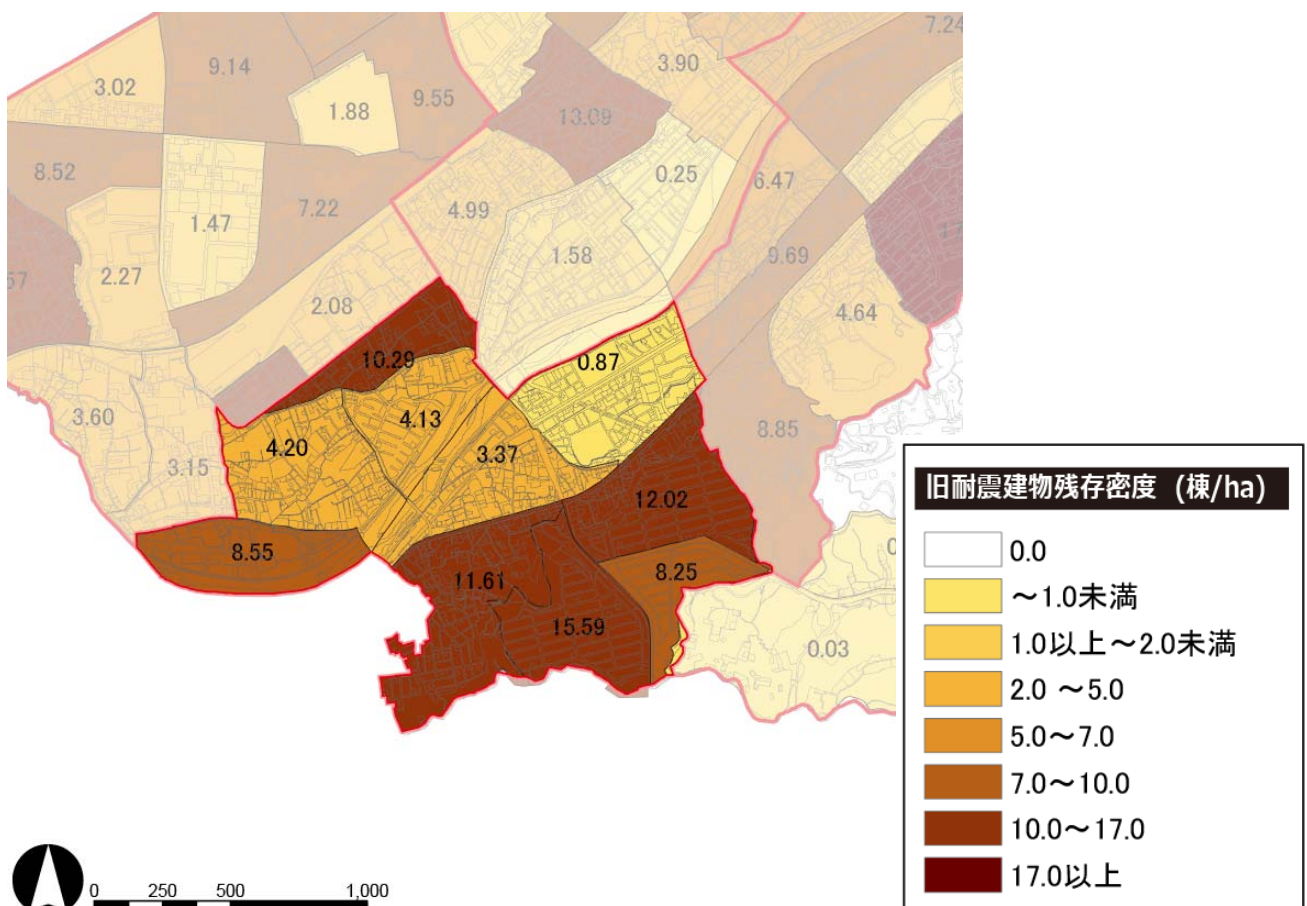
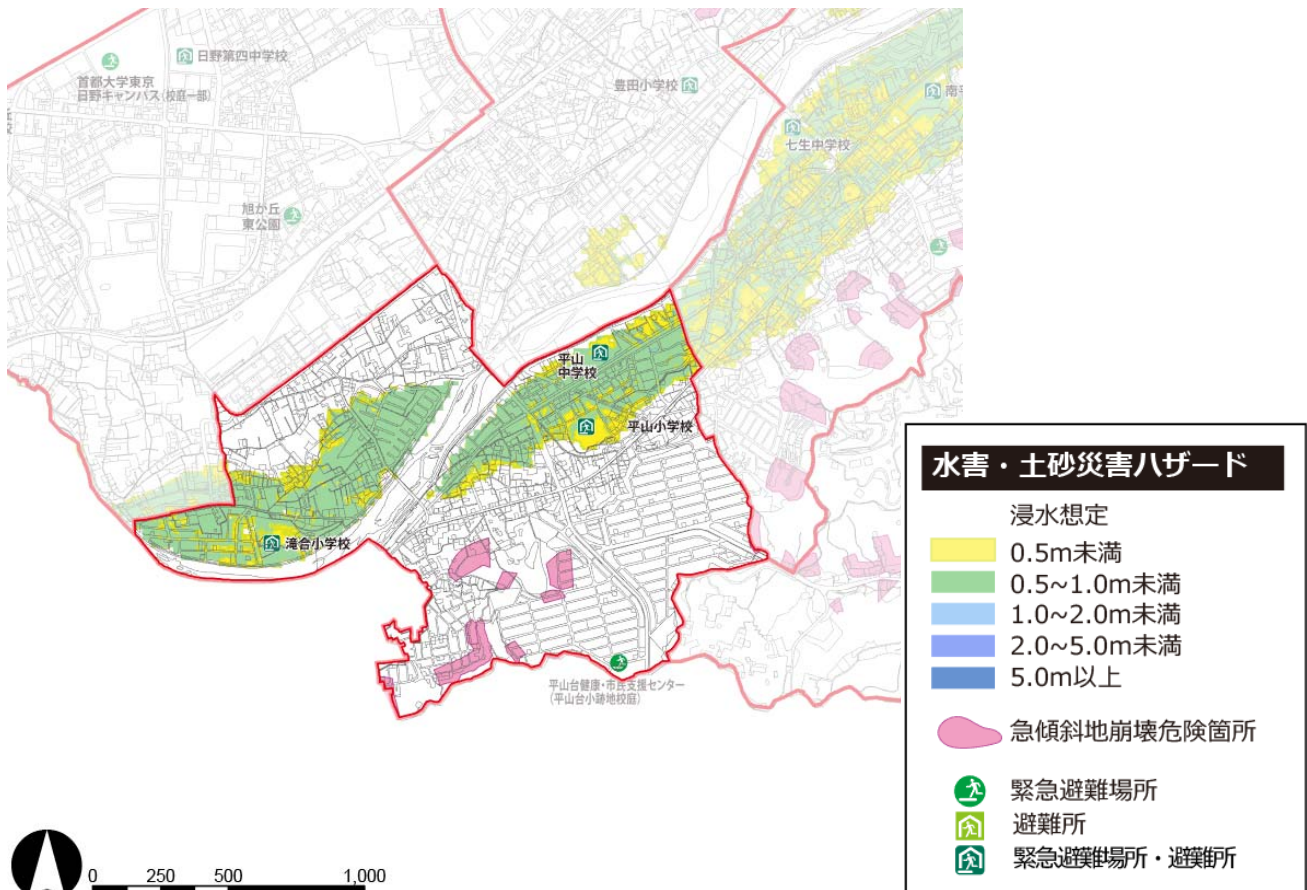
公共交通の利便性

- 鉄道・モノレールと駅
- 75本(片道)以上のバスルート
- 35本以上のバスルート
- 10本未満のバスルート
- ミニバスルート(10～20本)
- バス停
- 駅400m圏+35本以上のバス停200m圏
- 10～35本未満のバス停200m圏
- 10本未満のバス停200m圏
- 上記以外(公共交通空白地域)

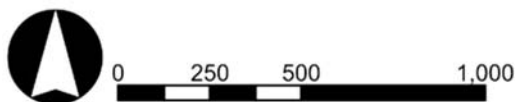
生活利便施設・コミュニティ施設

- 商業施設(スーパー、コンビニ)
- 医療施設(病院、診療所)
- 子育て施設(幼稚園、保育所)
- 交流施設(交流センター、地区センター)
- 地域包括支援センター
- 福祉施設(訪問サービス、通所サービス、ショートステイ、特養等入所施設、グループホーム)
- 小・中学校
- 公園

■ 平山中地域 <安全な暮らし>



■ 平山中地域 まちづくり方針図



記憶と文化を伝える まちをつくる

- 公園の整備と機能の充実
- 農地の保全と活用
- 崖線・多摩丘陵等の緑の保全
- 用水路の維持・保全
- 湧水
- 史跡の保全と活用

暮らしの舞台を支える まちをつくる

- 住環境の整備改善
(生活道路整備・ルールづくりなど)
- 住宅地の価値向上
(区画整理施行中・計画)
- 住環境の維持・向上
(区画整理施行済)
- 住み続けられる環境整備
(丘陵部の住宅団地)
- 学校(余裕教室の活用等)
- 地域包括支援センター

人々が活発に活動する まちをつくる

- 都市・生活拠点の機能充実
- 沿道の施設誘導
- 操業環境の維持・保全
- 住工混在の改善
- 幹線道路の整備・改善
(緑化・歩きやすい歩行環境整備)
- 生活幹線道路の整備

七生中学校地域

～日野の原風景である農と水路のあるまち～

地域の現況

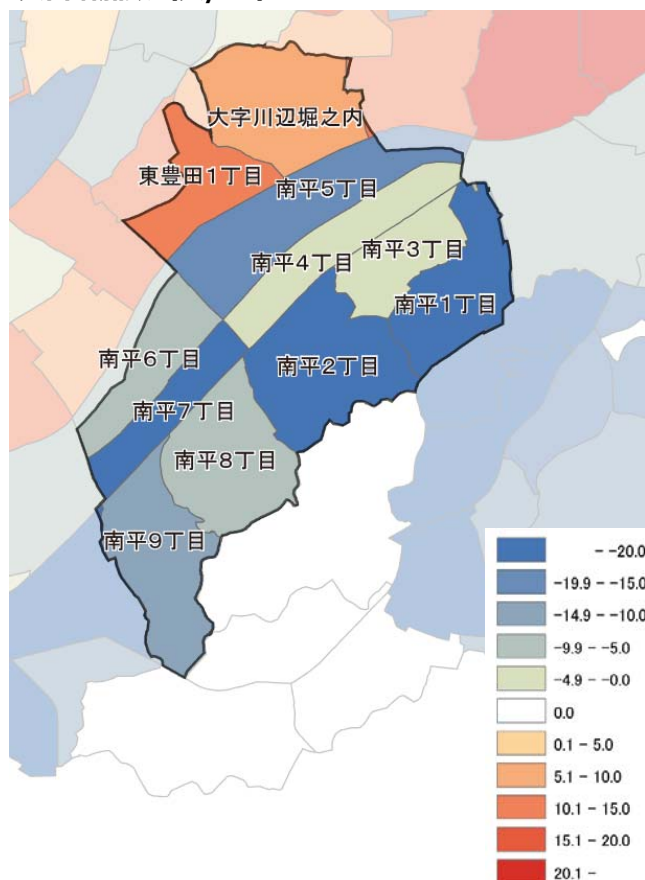
今後の人口動向	<ul style="list-style-type: none"> ・区画整理が予定されている川辺堀之内では人口増加が見込まれるが、その他の区域では人口減少が見込まれる。丘陵部の住宅地では75歳以上人口の増加と世帯数の減少が見込まれている。
暮らしやすさ	<ul style="list-style-type: none"> ・生活利便施設等は北野街道沿道、南平駅周辺にみられるが、川辺堀之内や丘陵部の住宅地には立地が少ない。
安心な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・浅川の南岸に浸水1m程度が想定される区域が広がっている。 ・丘陵部に急傾斜地の崩壊危険性がある箇所が点在している。 ・丘陵部の南平1, 2丁目に旧耐震基準の古い建物が多い。

まちづくり方針の概要

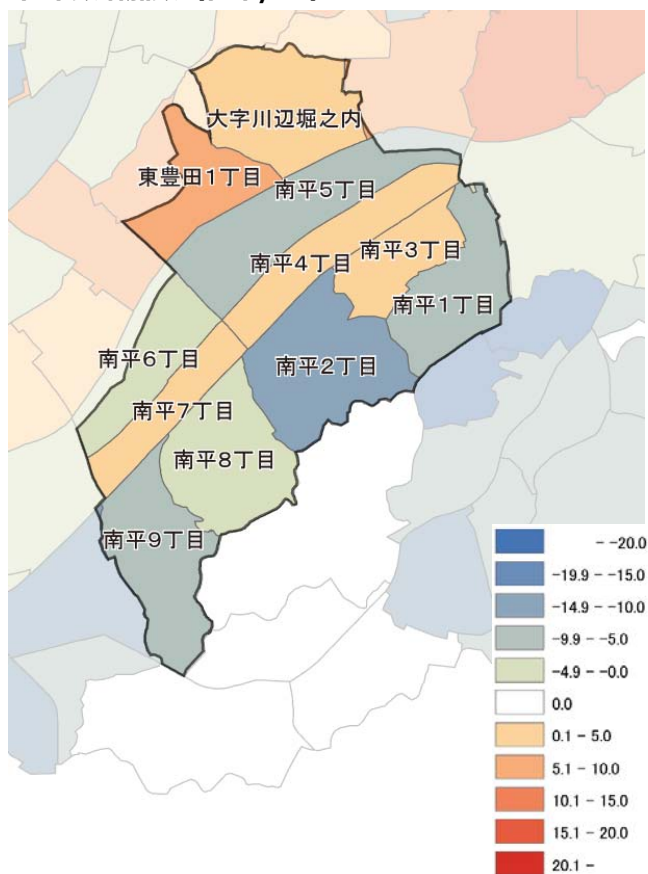
記憶と文化を伝えるまちをつくる	自然 ・ 農地	<ul style="list-style-type: none"> ●北に流れる浅川、南に広がる多摩丘陵の豊かな自然を守る。 ●川辺堀之内の農地や水路を保全・活用しながら区画整理を進め、農の拠点を創る。
暮らしの舞台を支えるまちをつくる	住宅地 ・ 生活基盤	<ul style="list-style-type: none"> ●北野街道の拡幅整備にあわせて、安心して歩きやすい歩行者環境を整えていく。 ●南平の丘陵部住宅地の街並みと住環境を残しながら、高齢者が住み続けられるよう生活支援機能や移動環境を整えていく。
人々が活発に活動するまちをつくる	拠点 ・ 産業	<ul style="list-style-type: none"> ●南平駅周辺は、公共交通の結節機能を高め、生活サービス機能の充実した生活拠点を形成する。 ●北野街道の拡幅整備にあわせて生活サービス施設を充実していく。 ●南平体育館の再整備にあわせて、市民の健康やコミュニティの新たな拠点を創る。

■ 七生中地域 今後の人口と世帯数の推計（2015～2040 増減推計）

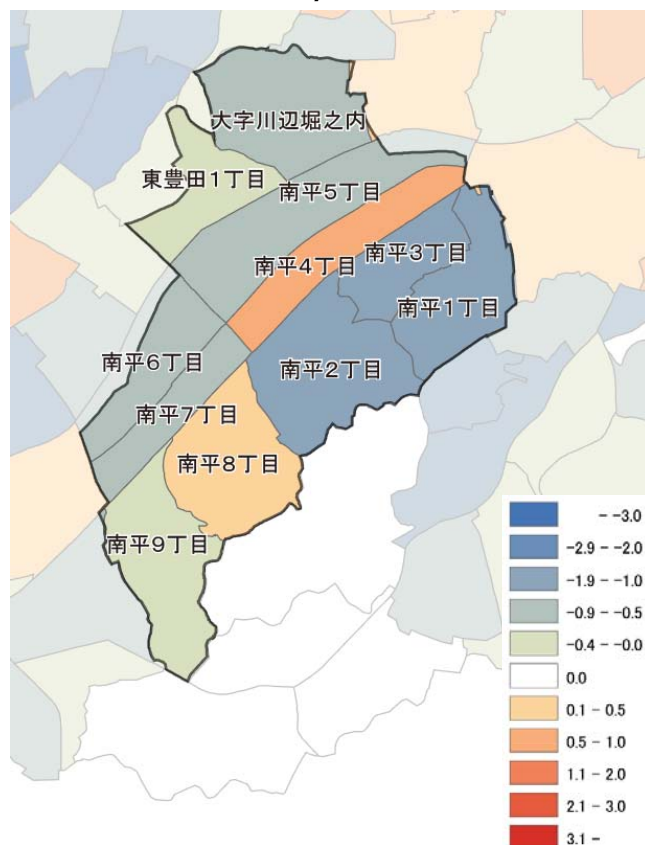
人口増加数（人/ha）



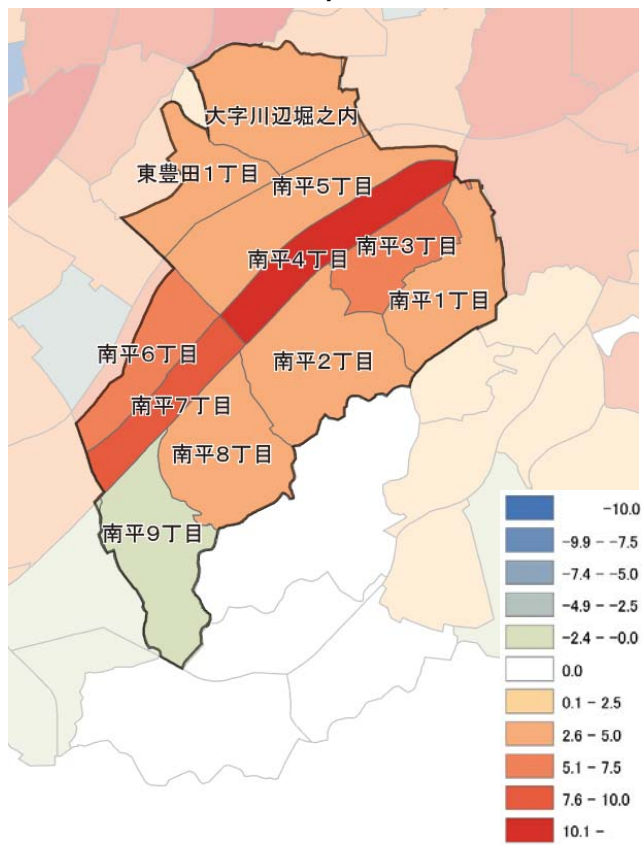
世帯数増加数（世帯/ha）



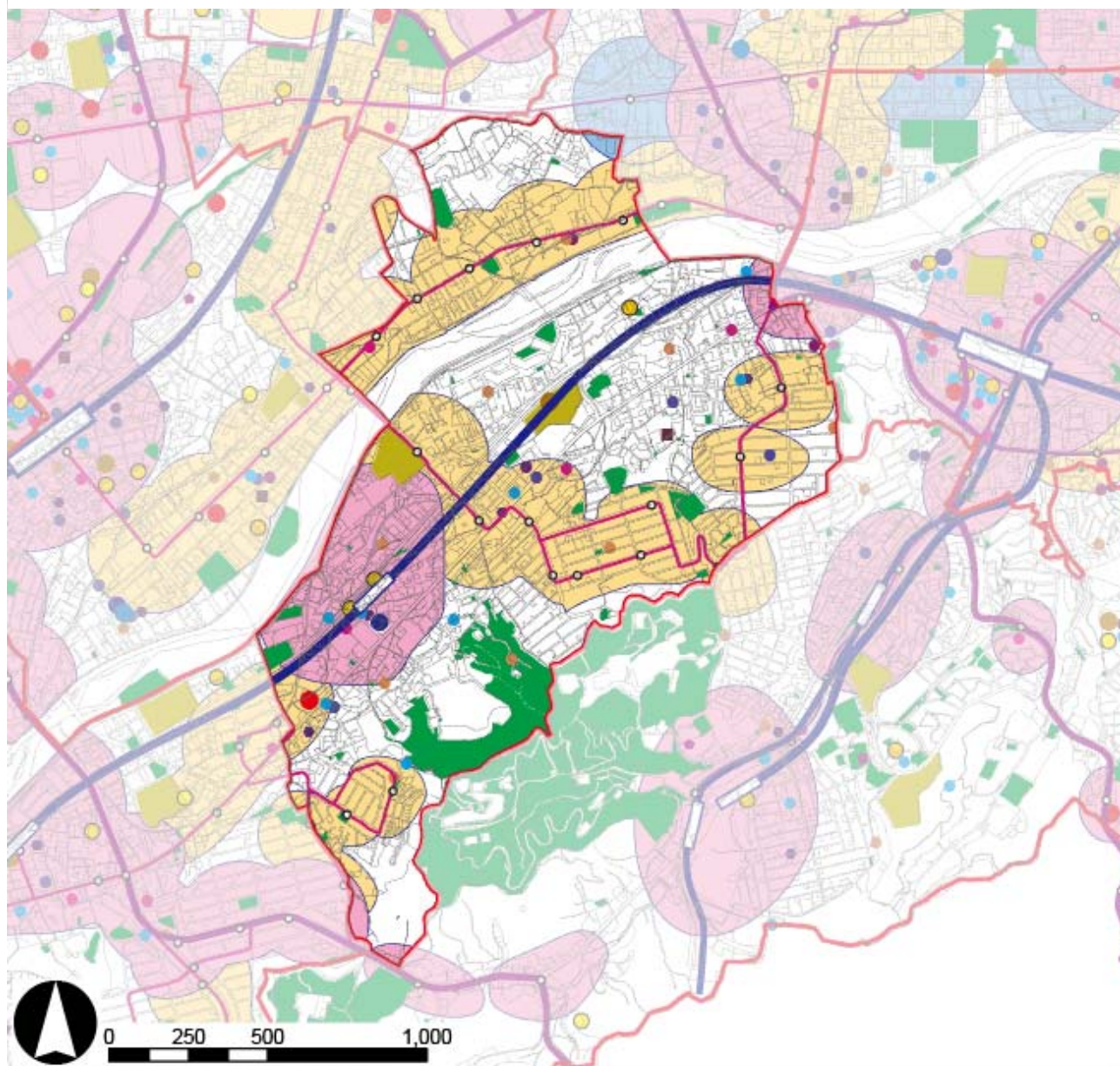
6歳未満人口増加数（人/ha）



75歳以上人口増加数（人/ha）



■七生中地域 <暮らしやすさ>



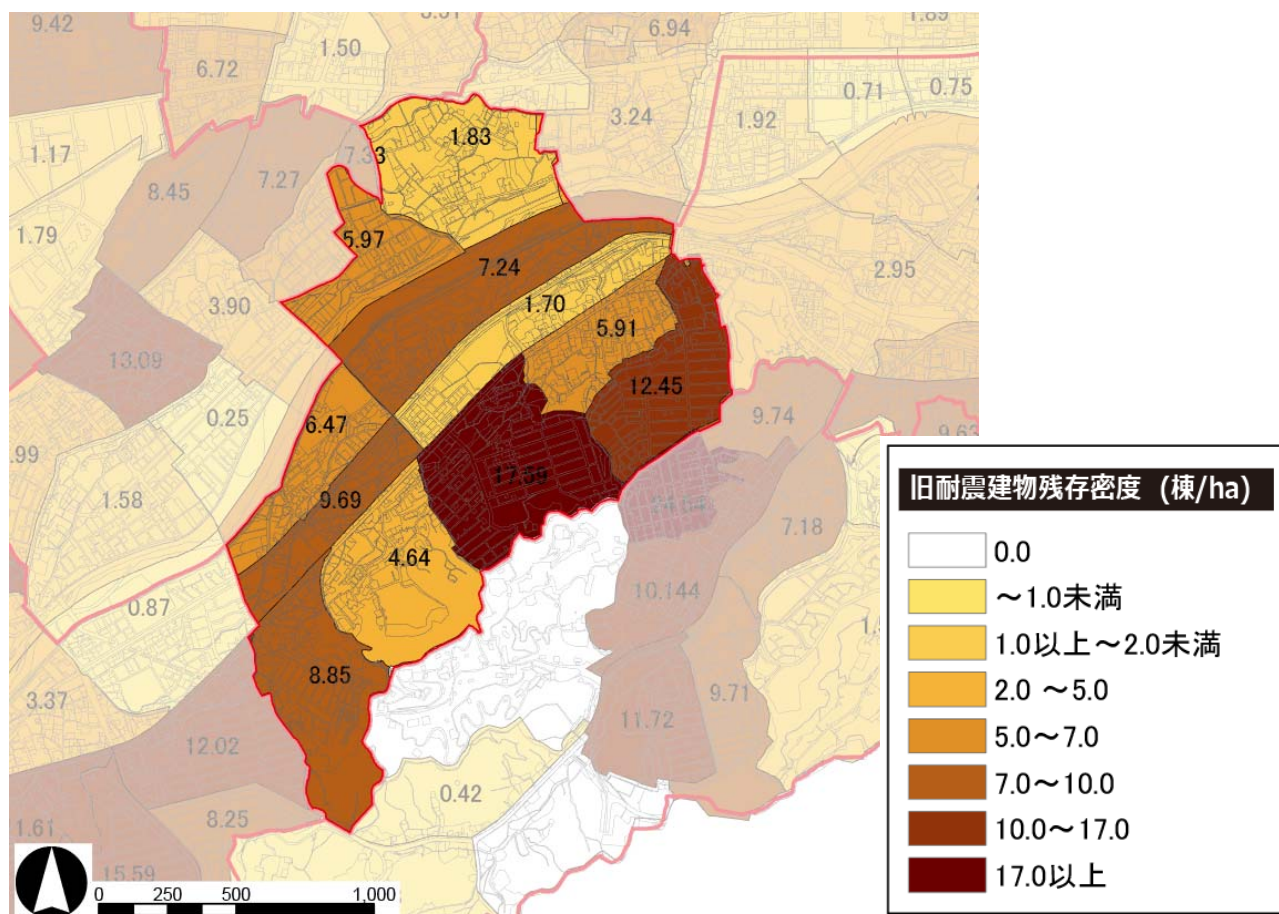
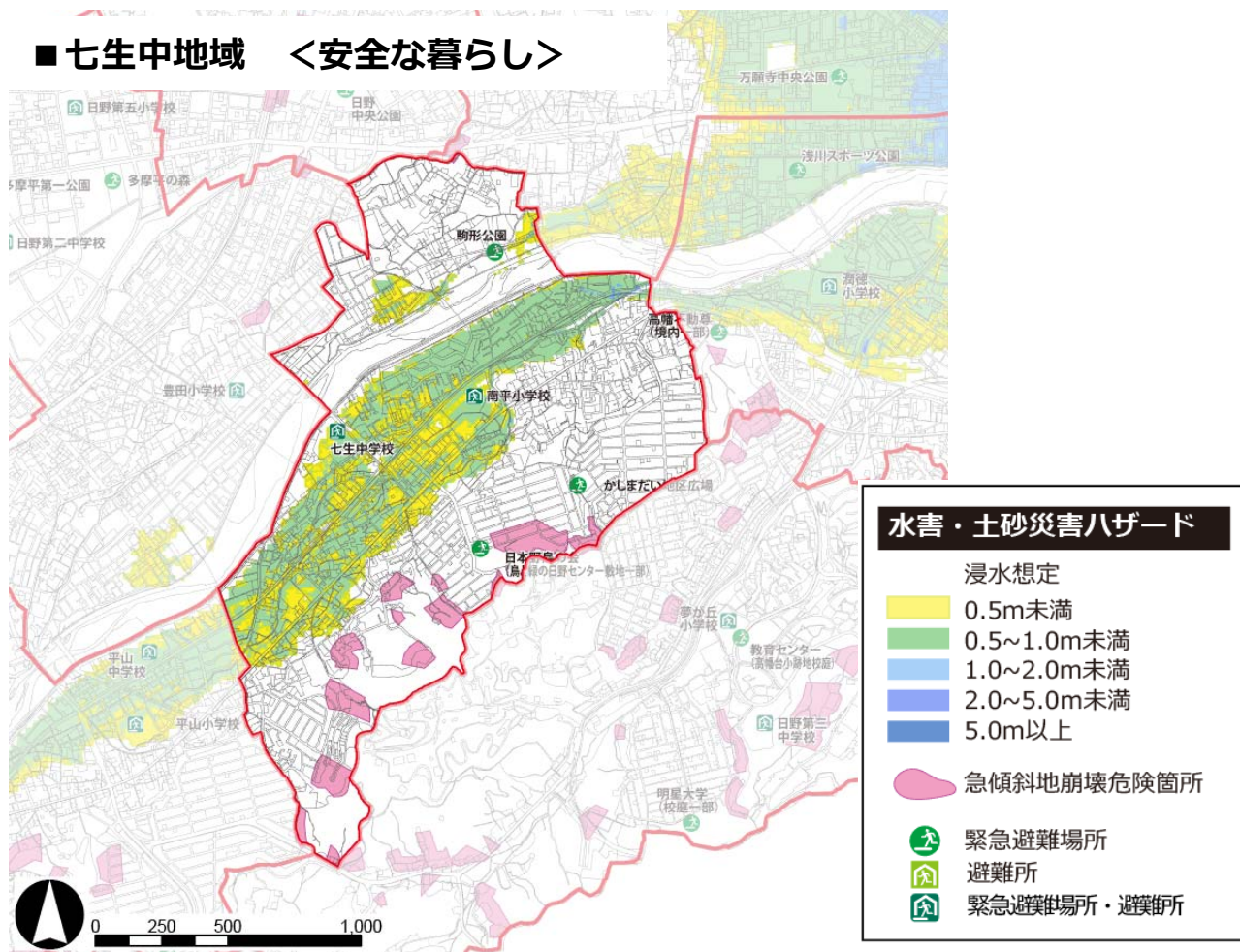
公共交通の利便性

- 鉄道・モノレールと駅
- 75本(片道)以上のバスルート
- 35本以上のバスルート
- 10本未満のバスルート
- ミニバスルート(10〜20本)
- バス停
- 駅400m圏+35本以上のバス停200m圏
- 10〜35本未満のバス停200m圏
- 10本未満のバス停200m圏
- 上記以外(公共交通空白地域)

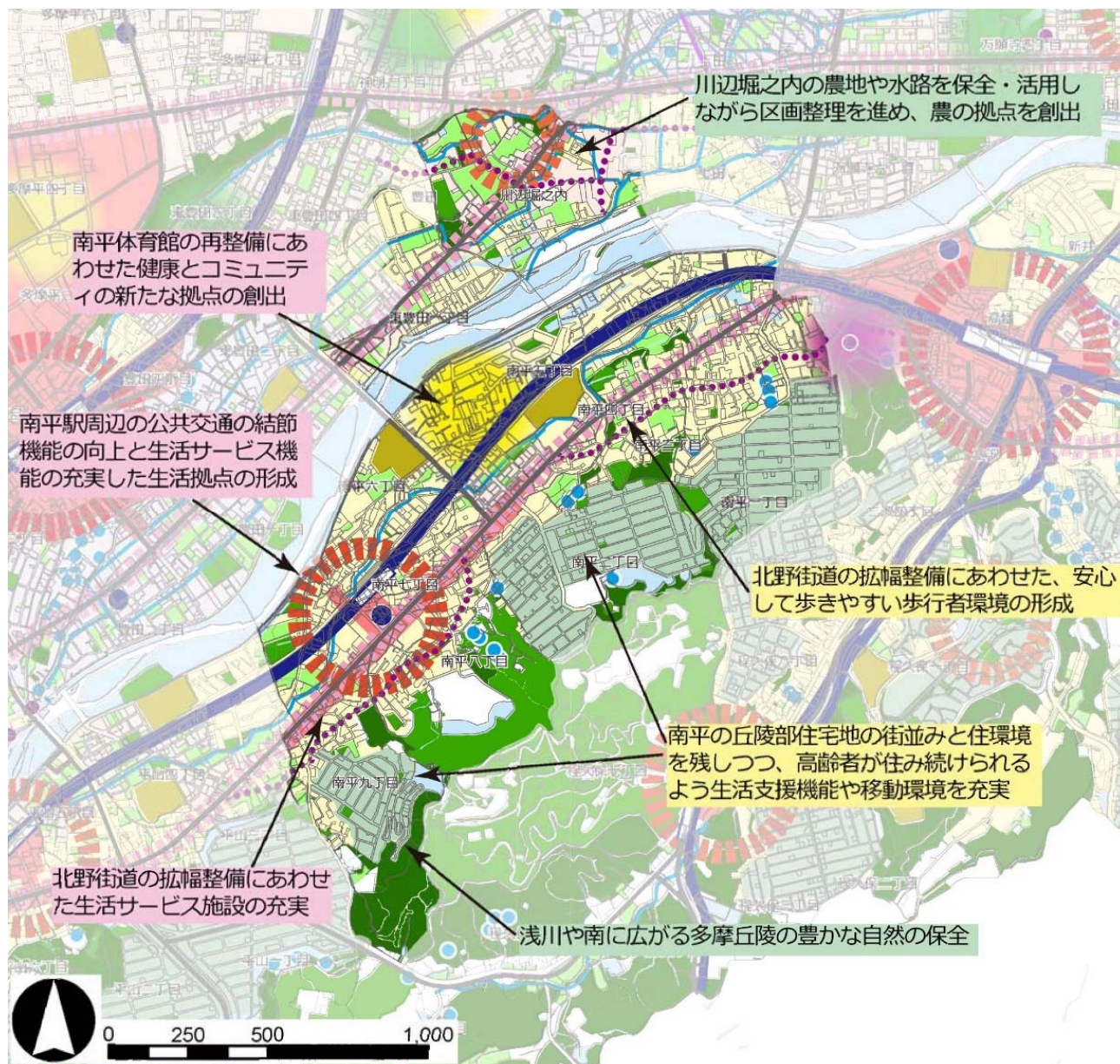
生活利便施設・コミュニティ施設

- 商業施設(スーパー、コンビニ)
- 医療施設(病院、診療所)
- 子育て施設(幼稚園、保育所)
- 交流施設(交流センター、地区センター)
- 地域包括支援センター
- 福祉施設(訪問サービス、通所サービス、ショートステイ、特養等入所施設、グループホーム)
- 小・中学校
- 公園

■七生中地域 <安全な暮らし>



■七生中地域 まちづくり方針図



記憶と文化を伝える まちをつくる

- 公園の整備と機能の充実
- 農地の保全と活用
- 崖線・多摩丘陵等の緑の保全
- 用水路の維持・保全
- 湧水
- 史跡の保全と活用

暮らしの舞台を支える まちをつくる

- 住環境の整備改善
(生活道路整備・ルールづくりなど)
- 住宅地の価値向上
(区画整理施行中・計画)
- 住環境の維持・向上
(区画整理施行済)
- 住み続けられる環境整備
(丘陵部の住宅団地)
- 学校(余裕教室の活用等)
- 地域包括支援センター

人々が活発に活動する まちをつくる

- 都市・生活拠点の機能充実
- 沿道の施設誘導
- 操業環境の維持・保全
- 住工混在の改善
- 幹線道路の整備・改善
(緑化・歩きやすい歩行環境整備)
- 生活幹線道路の整備

三沢中学校地域

～高幡不動、農と水路・里山が息づくまち～

地域の現況

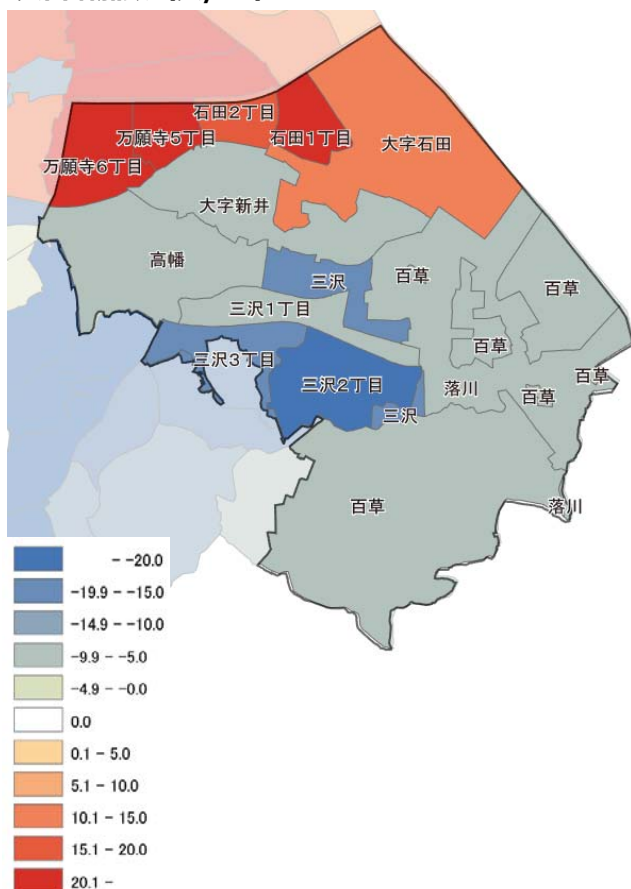
今後の人口動向	<ul style="list-style-type: none"> ・区画整理が行われた万願寺・石田周辺では人口・世帯数の増加が見込まれる。 ・南部の三沢、百草周辺では人口減少が見込まれ、75歳以上人口の増加、世帯数の減少が見込まれる。
暮らしやすさ	<ul style="list-style-type: none"> ・高幡不動駅周辺を中心に商業、医療等の生活利便施設が集積する。百草園駅周辺にも商業、福祉施設があるが、その他の地域には生活利便施設が少ない。
安心な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・浅川沿岸に浸水1m以上が想定される区域が広がっており、大字石田には浸水5m以上が想定される区域もある。 ・丘陵部に急傾斜地の崩壊危険性がある箇所が点在している。 ・丘陵部の住宅団地である三沢2丁目に旧耐震基準の古い建物が多い。

まちづくり方針の概要

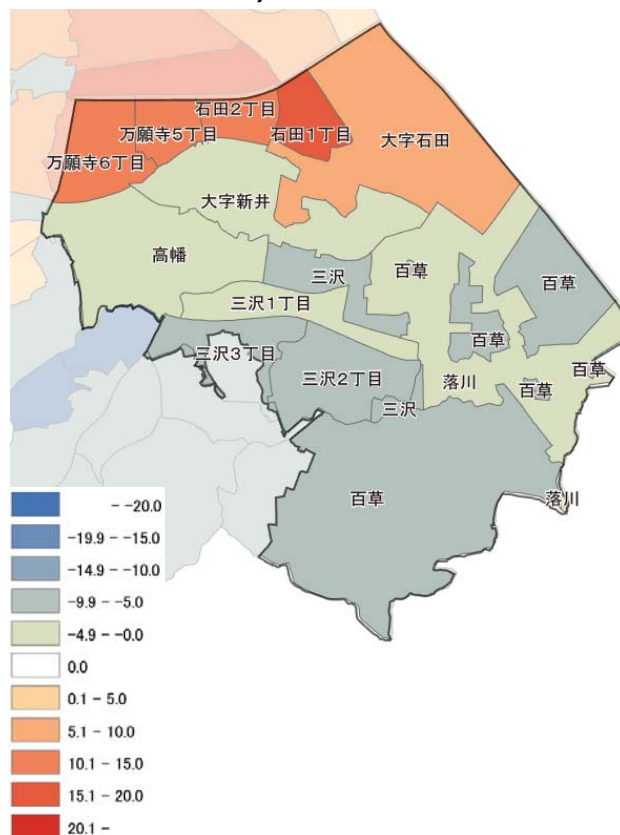
記憶と文化を伝えるまちをつくる	自然 ・ 農地	<ul style="list-style-type: none"> ●農地や水路、浅川と程久保川合流点ワンドなど、自然とふれあえる場所をつなぎ市民の活動拠点とする。 ●倉沢周辺の里山を、多くの人が訪れる活動拠点とする。
暮らしの舞台を支えるまちをつくる	住宅地 ・ 生活基盤	<ul style="list-style-type: none"> ●北河原公園を防災拠点として周辺住宅地の安全性を高める。 ●三沢の丘陵部住宅地の街並みと住環境を残しながら、高齢者が住み続けられるよう生活支援機能や移動環境を整えていく。
人々が活発に活動するまちをつくる	拠点 ・ 産業	<ul style="list-style-type: none"> ●高幡不動駅周辺は、高幡不動尊や商業施設等の集積を活かし、多くの人が集まり魅力ある拠点を形成する。 ●百草園駅周辺は、住民の生活サービス機能の充実や、百草園や自然を訪れる人々の交流拠点としていく。

■ 三沢中地域 今後の人口と世帯数の推計（2015～2040 増減推計）

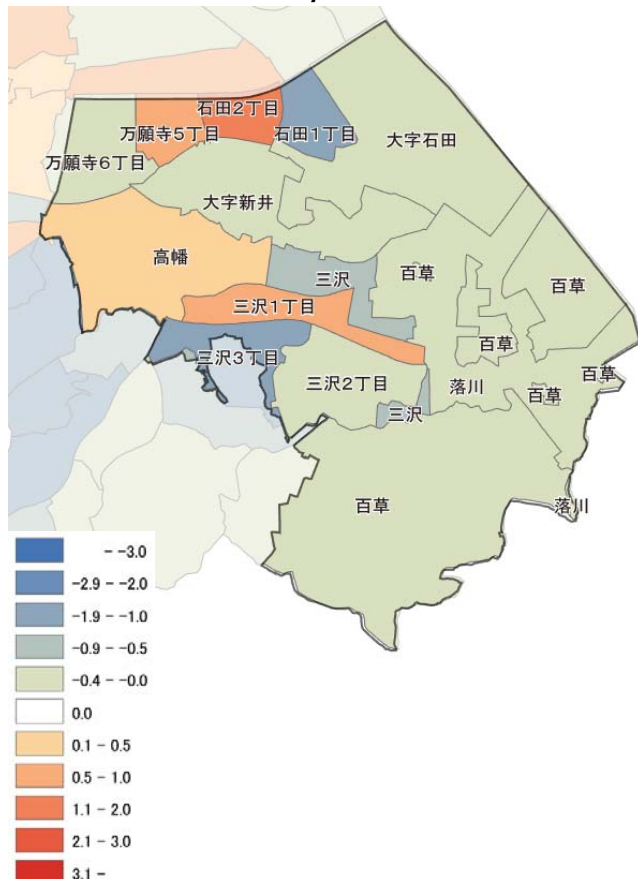
人口増加数（人/ha）



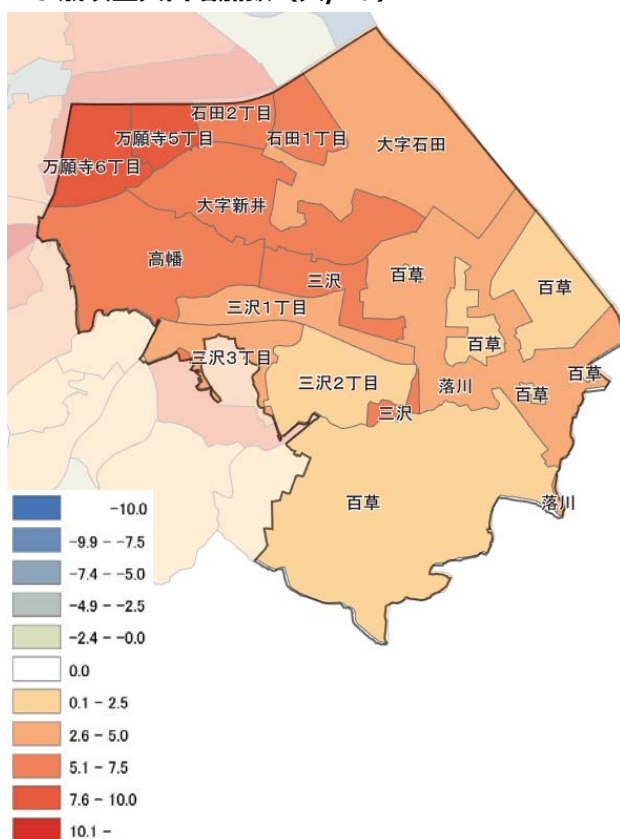
世帯数増加数（世帯/ha）



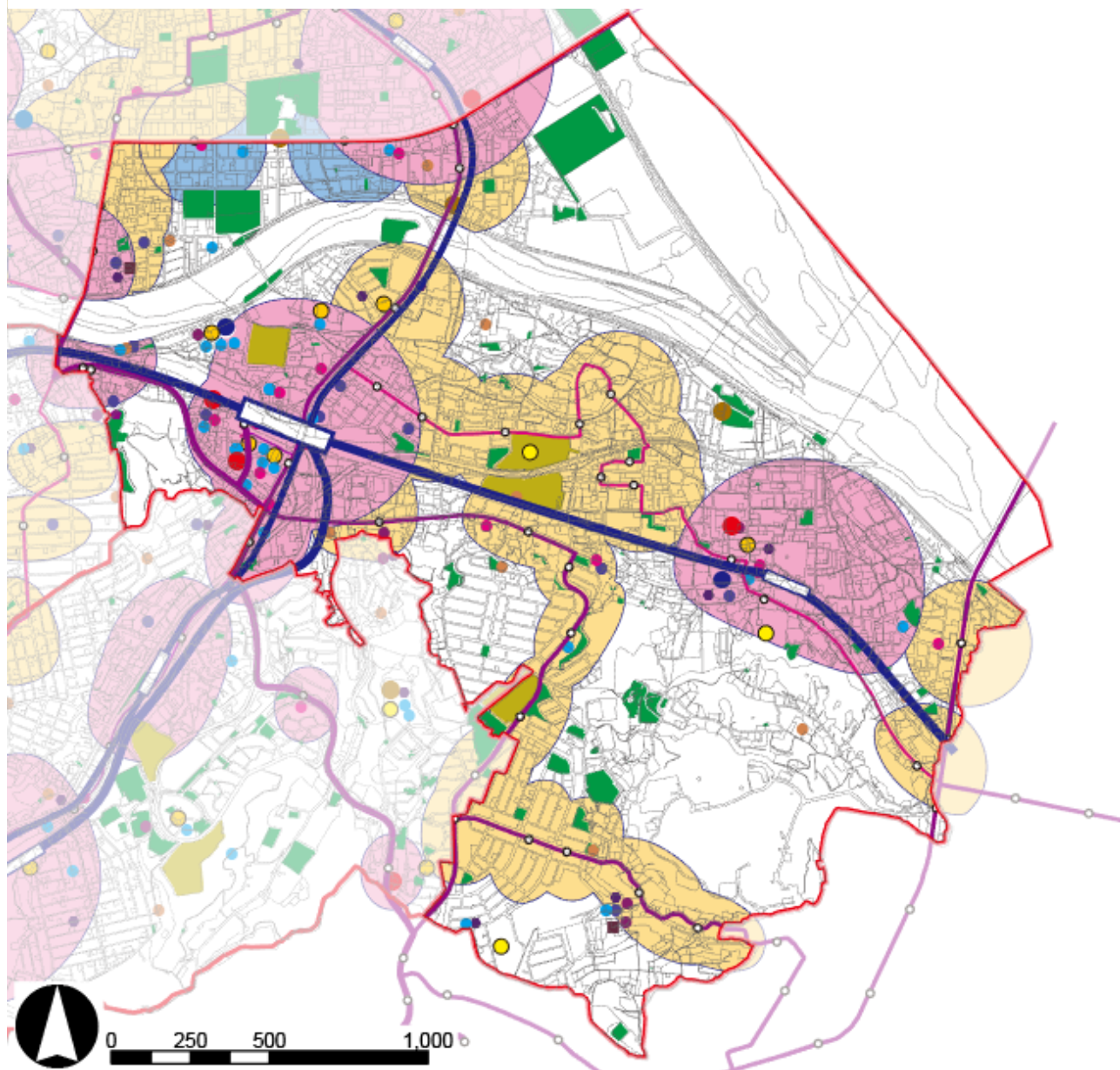
6歳未満人口増加数（人/ha）



75歳以上人口増加数（人/ha）



■三沢中地域 <暮らしやすさ>



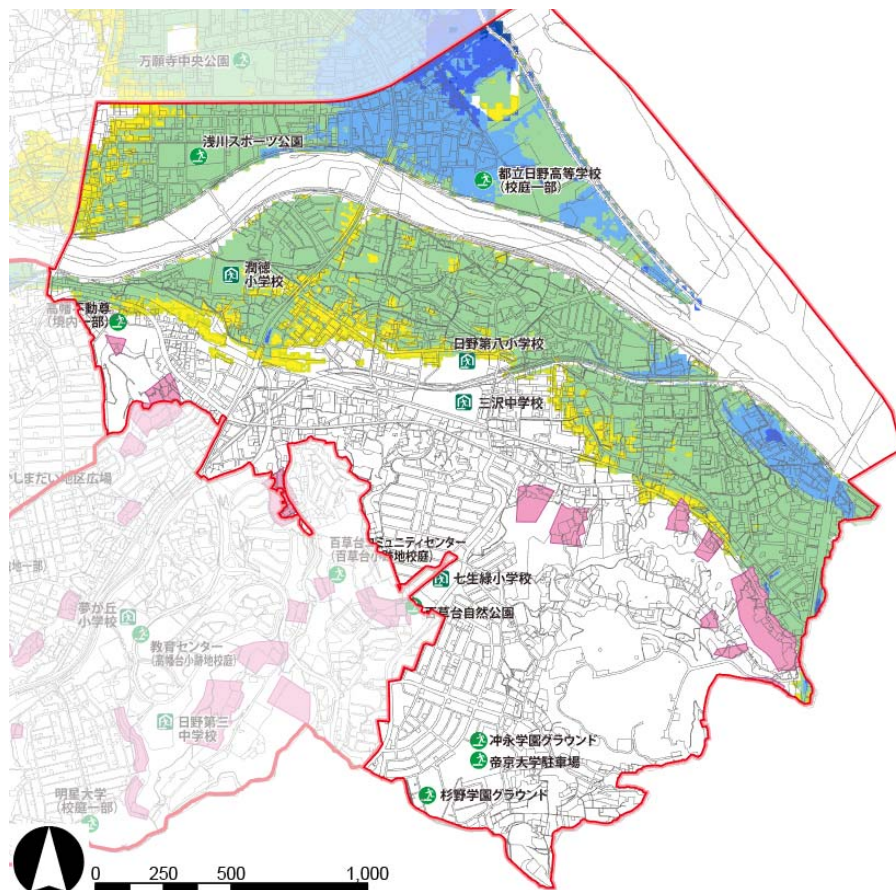
公共交通の利便性

- 鉄道・モノレールと駅
- 75本(片道)以上のバスルート
- 35本以上のバスルート
- 10本未満のバスルート
- ミニバスルート(10~20本)
- バス停
- 駅400m圏+35本以上のバス停200m圏
- 10~35本未満のバス停200m圏
- 10本未満のバス停200m圏
- 上記以外(公共交通空白地域)

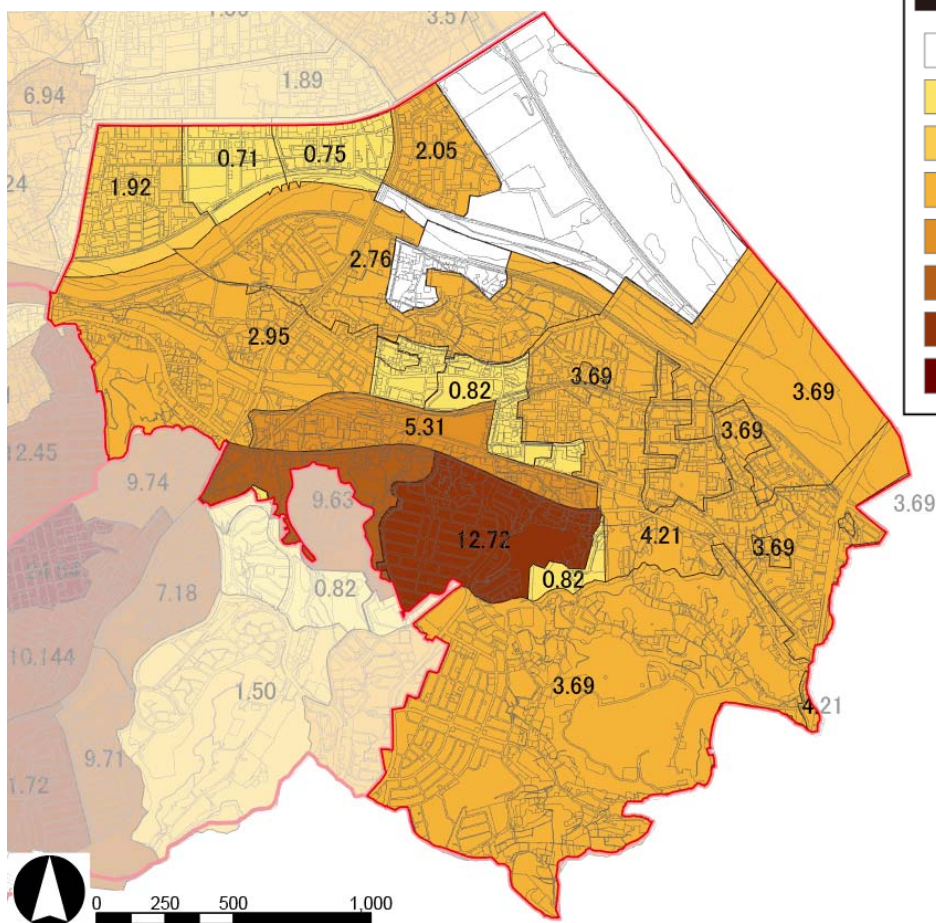
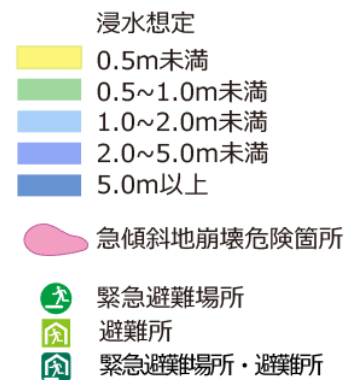
生活便利施設・コミュニティ施設

- 商業施設(スーパー、コンビニ)
- 医療施設(病院、診療所)
- 子育て施設(幼稚園、保育所)
- 交流施設(交流センター、地区センター)
- 地域包括支援センター
- 福祉施設(訪問サービス、通所サービス、ショートステイ、特養等入所施設、グループホーム)
- 小・中学校
- 公園

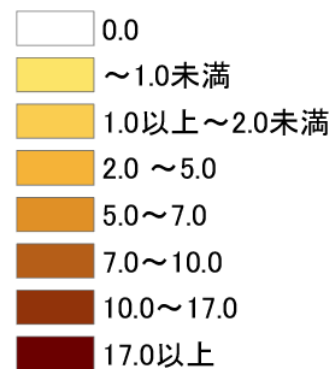
■三沢中地域 <安全な暮らし>



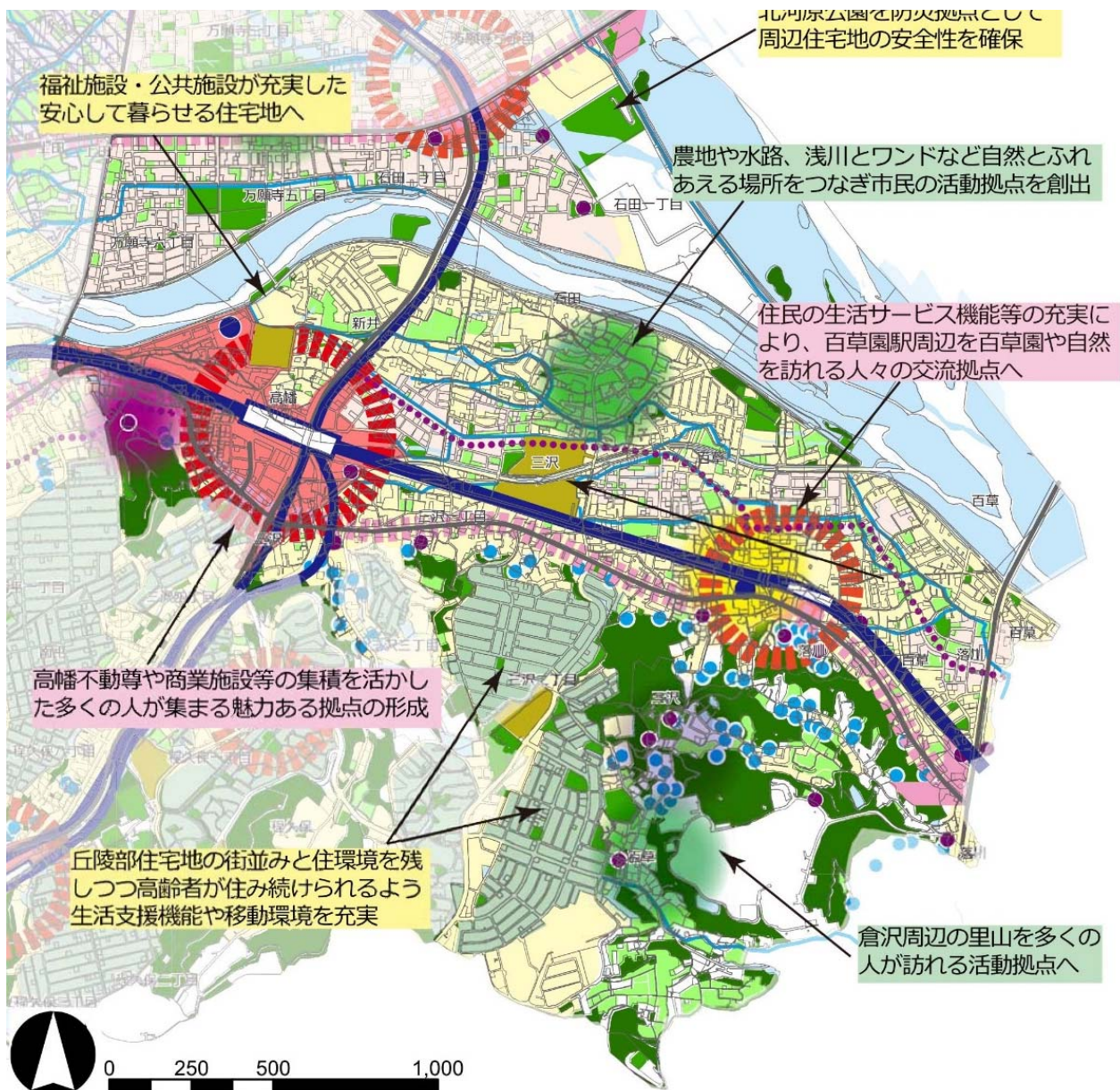
水害・土砂災害ハザード



旧耐震建物残存密度 (棟/ha)



■三沢中地域 まちづくり方針図



記憶と文化を伝える まちをつくる

- 公園の整備と機能の充実
- 農地の保全と活用
- 崖線・多摩丘陵等の緑の保全
- 用水路の維持・保全
- 湧水
- 史跡の保全と活用

暮らしの舞台を支える まちをつくる

- 住環境の整備改善
(生活道路整備・ルールづくりなど)
- 住宅地の価値向上
(区画整理施行中・計画)
- 住環境の維持・向上
(区画整理施行済)
- 住み続けられる環境整備
(丘陵部の住宅団地)
- 学校(余裕教室の活用等)
- 地域包括支援センター

人々が活発に活動する まちをつくる

- 都市・生活拠点の機能充実
- 沿道の施設誘導
- 操業環境の維持・保全
- 住工混在の改善
- 幹線道路の整備・改善
(緑化・歩きやすい歩行環境整備)
- 生活幹線道路の整備

第三中学校地域

～多摩丘陵の玄関のまち～

地域の現況

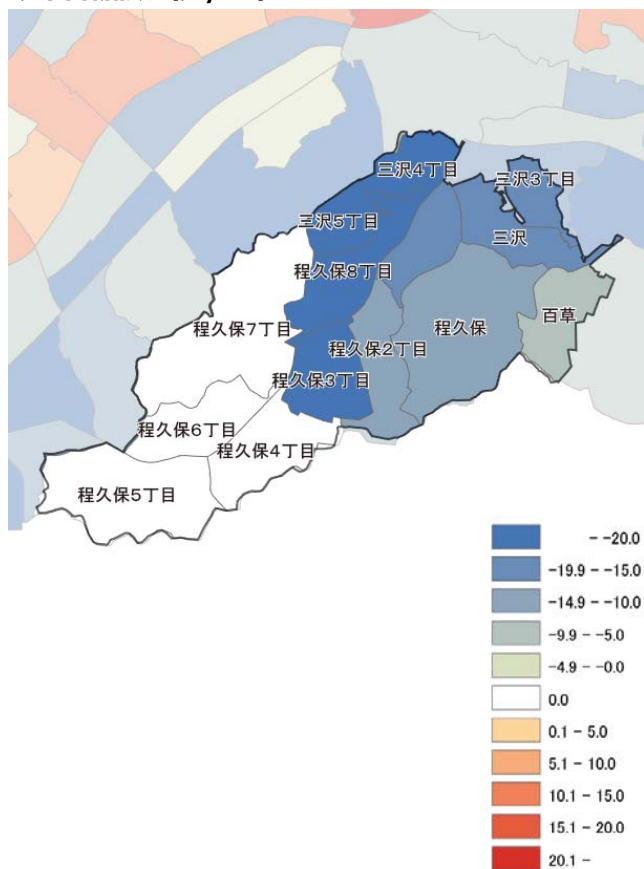
今後の人口動向	・ 全域で人口・世帯数の減少、75歳以上人口の増加が見込まれる。西部は多摩丘陵で居住者のほばいない区域となっている。
暮らしやすさ	・ 駅周辺も含めて地域全体に生活利便施設の立地が少ない。
安心した暮らし	・ 丘陵部に急傾斜地の崩壊危険性がある箇所が散在している。 ・ 丘陵部の住宅団地である程久保3、8丁目、特に三沢5丁目に旧耐震基準の古い建物が多い。

まちづくり方針の概要

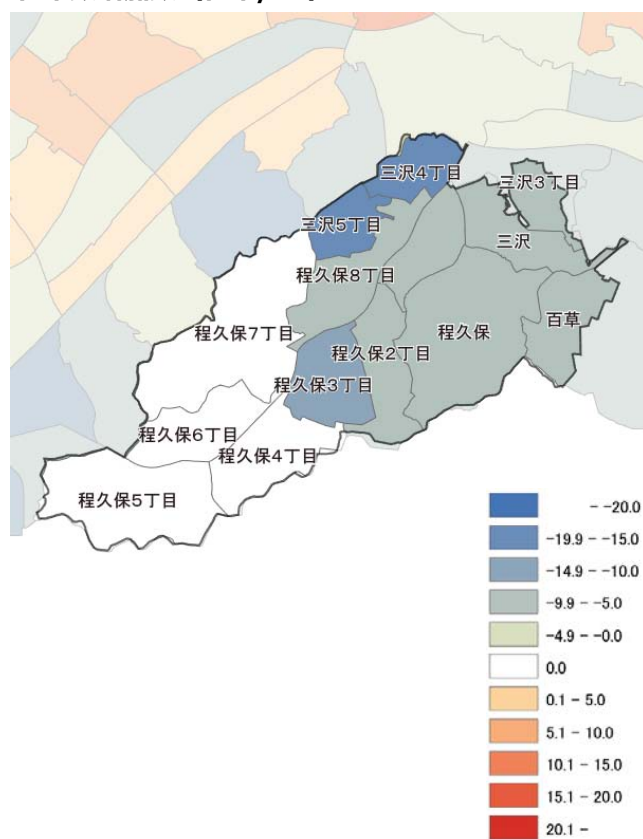
記憶と文化を 伝えるまちを つくる	自然 ・ 農地	● 多摩丘陵の公園や森林の豊かな緑を多摩動物公園と連携し保全していく。
暮らしの舞台 を支えるまち をつくる	住宅地 ・ 生活基盤	● 丘陵部では、急傾斜地の住宅整備を抑制するなど、土砂災害の安全性を高める。 ● 程久保の丘陵部住宅地では、高齢者が住み続けられるよう生活支援機能や移動環境を整えていく。 ● 高幡台や百草団地の緑豊かな住環境を活かし、住み続けられる魅力ある団地へ再生していく。
人々が活発に 活動するまち をつくる	拠点 ・ 産業	● 多摩動物公園駅周辺は、多摩動物公園や多摩丘陵を訪れる人との交流機能や、地域住民の生活サービス機能を充実していく。

■ 第三中地域 今後の人口と世帯数の推計（2015～2040 増減推計）

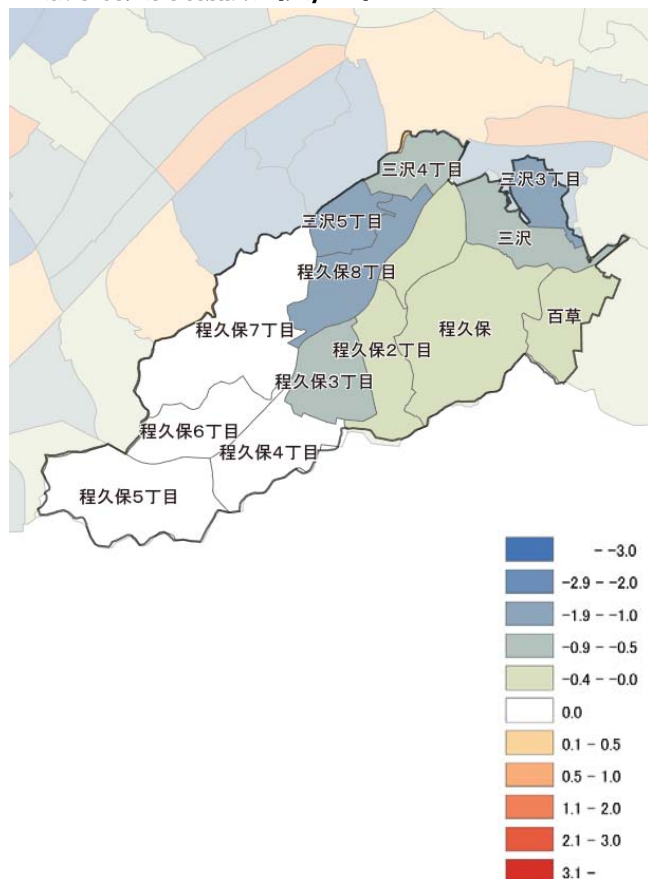
人口増加数（人/ha）



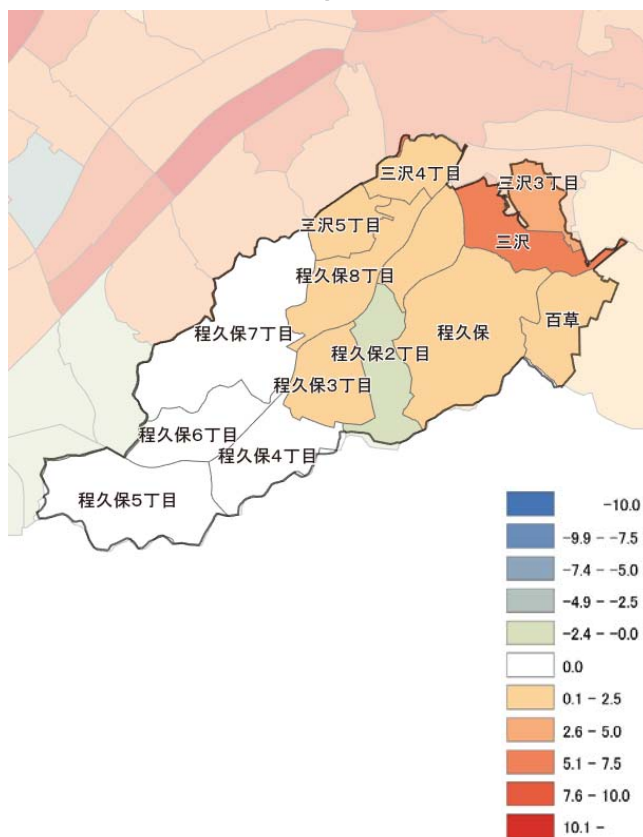
世帯数増加数（世帯/ha）



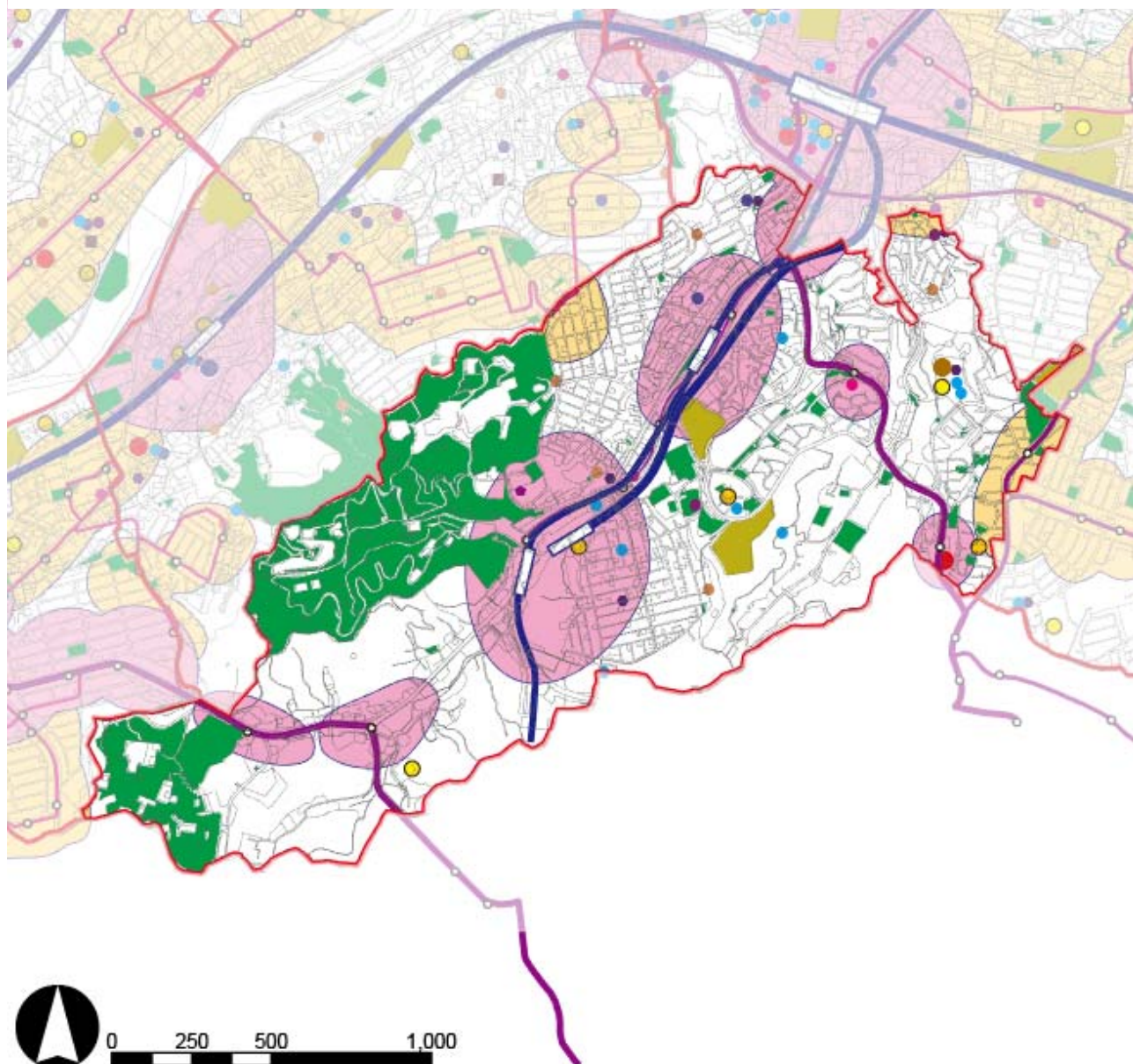
6歳未満人口増加数（人/ha）



75歳以上人口増加数（人/ha）



■第三中地域 <暮らしやすさ>



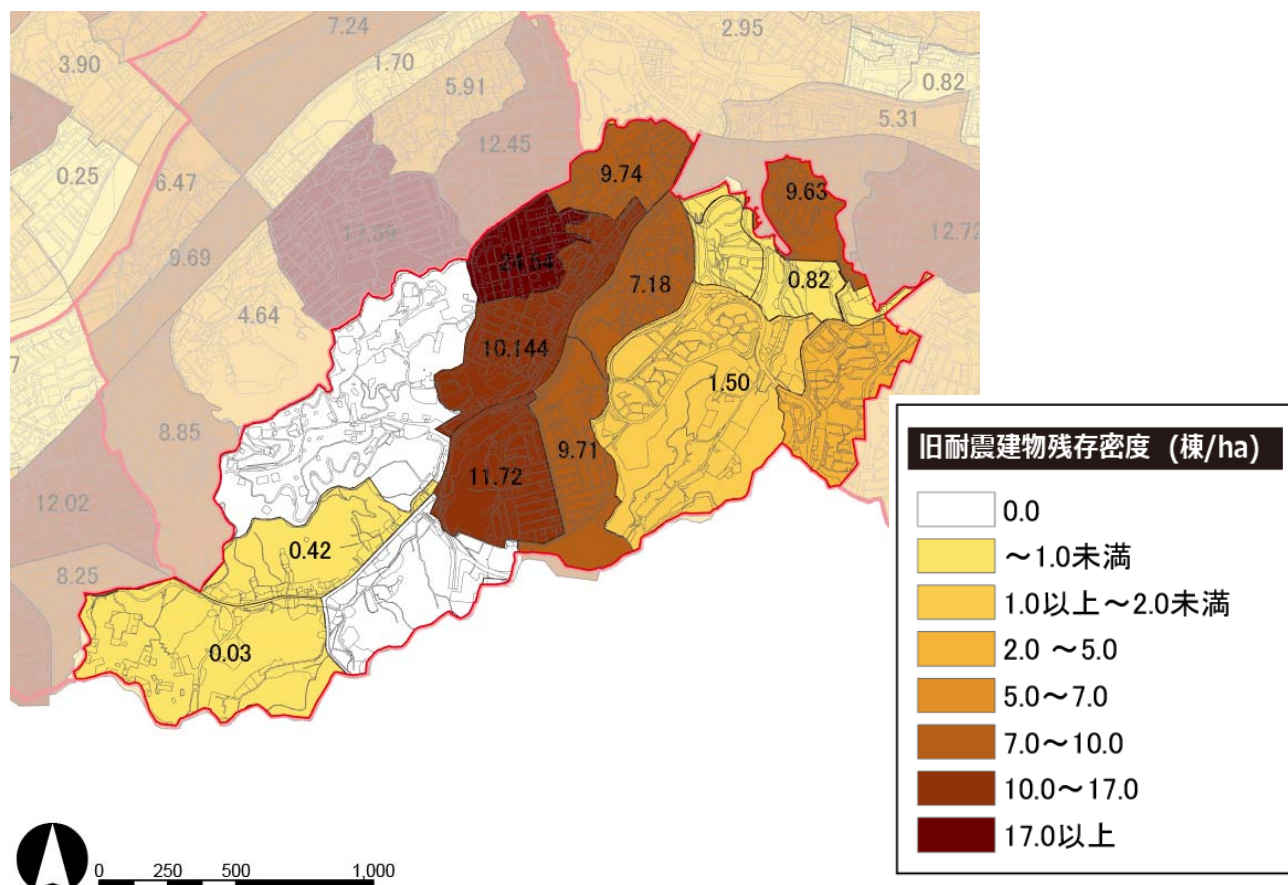
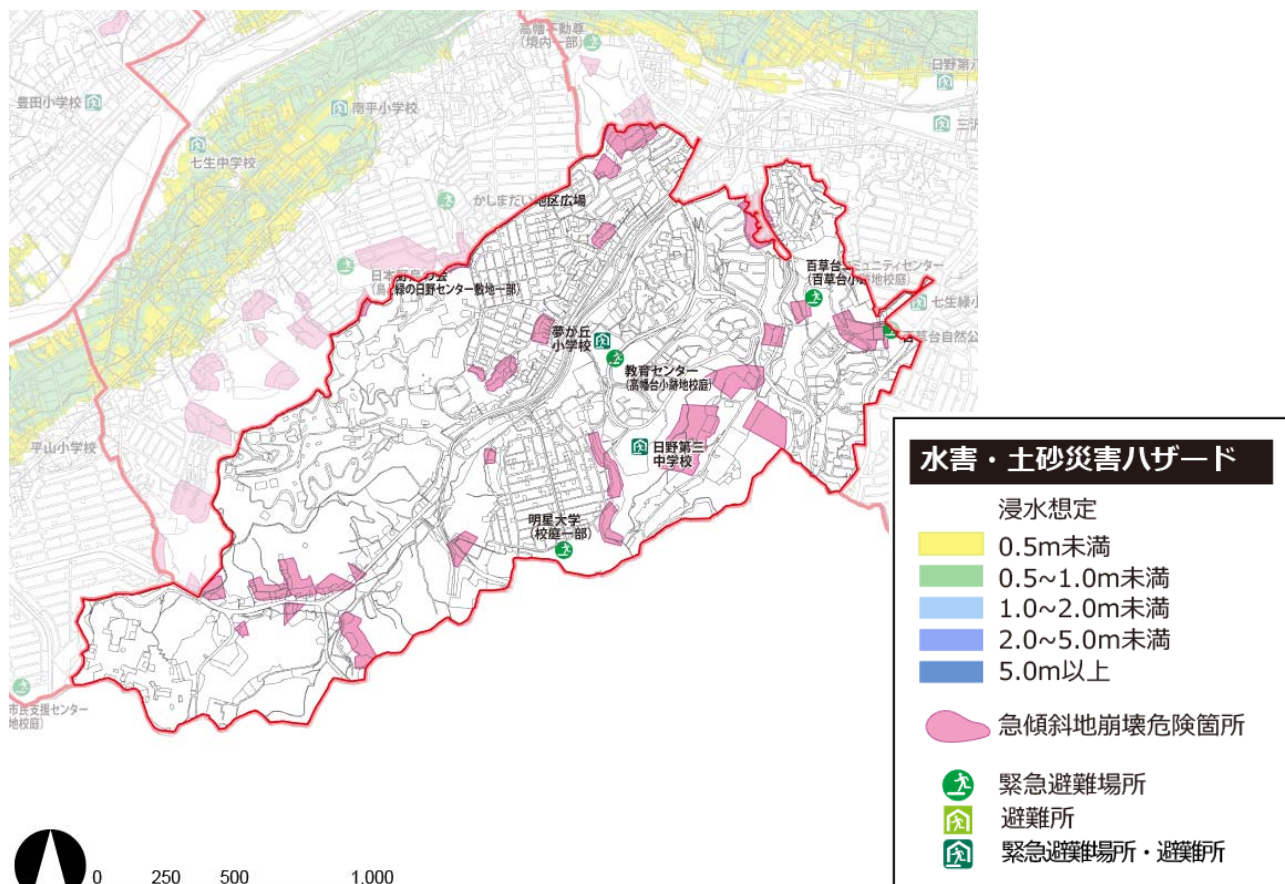
公共交通の利便性

- 鉄道・モノレールと駅
- 75本(片道)以上のバスルート
- 35本以上のバスルート
- 10本未満のバスルート
- ミニバスルート(10～20本)
- バス停
- 駅400m圏+35本以上のバス停200m圏
- 10～35本未満のバス停200m圏
- 10本未満のバス停200m圏
- 上記以外(公共交通空白地域)

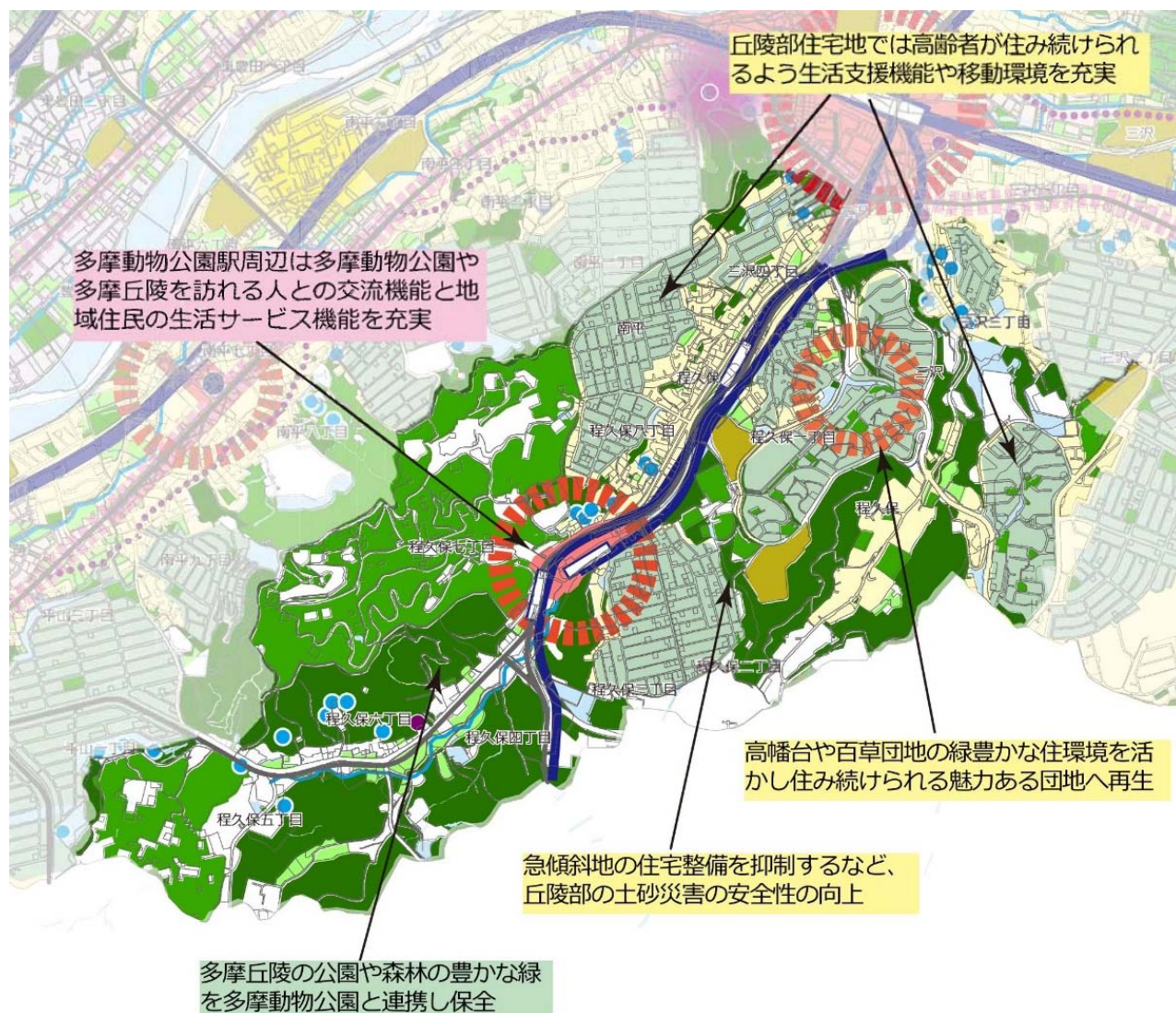
生活便利施設・コミュニティ施設

- 商業施設(スーパー、コンビニ)
- 医療施設(病院、診療所)
- 子育て施設(幼稚園、保育所)
- 交流施設(交流センター、地区センター)
- 地域包括支援センター
- 福祉施設(訪問サービス、通所サービス、ショートステイ、特養等入所施設、グループホーム)
- 小・中学校
- 公園

■第三中地域 <安全な暮らし>



■第三中地域 まちづくり方針図



0 250 500 1,000

記憶と文化を伝える まちをつくる

- 公園の整備と機能の充実
- 農地の保全と活用
- 崖線・多摩丘陵等の緑の保全
- 用水路の維持・保全
- 湧水
- 史跡の保全と活用

暮らしの舞台を支える まちをつくる

- 住環境の整備改善
(生活道路整備・ルールづくりなど)
- 住宅地の価値向上
(区画整理施行中・計画)
- 住環境の維持・向上
(区画整理施行済)
- 住み続けられる環境整備
(丘陵部の住宅団地)
- 学校(余裕教室の活用等)
- 地域包括支援センター

人々が活発に活動する まちをつくる

- 都市・生活拠点の機能充実
- 沿道の施設誘導
- 操業環境の維持・保全
- 住工混在の改善
- 幹線道路の整備・改善
(緑化・歩きやすい歩行環境整備)
- 生活幹線道路の整備